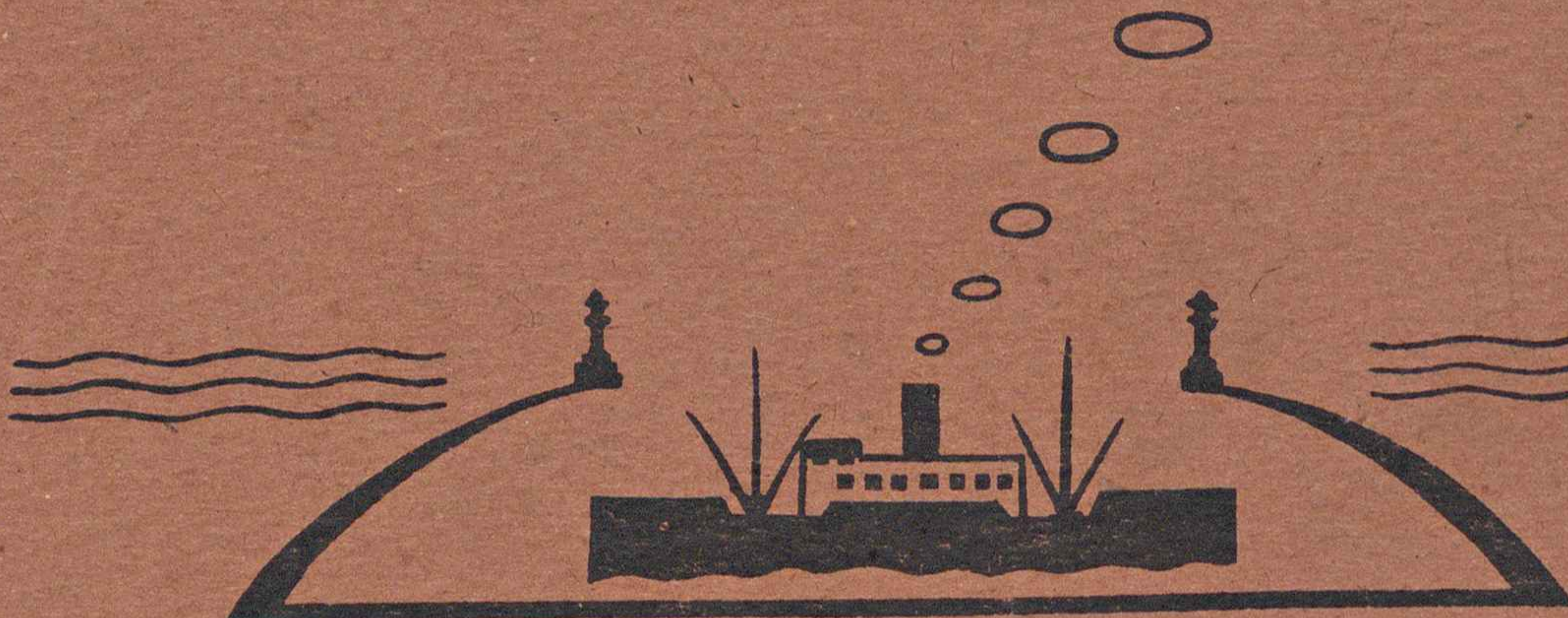
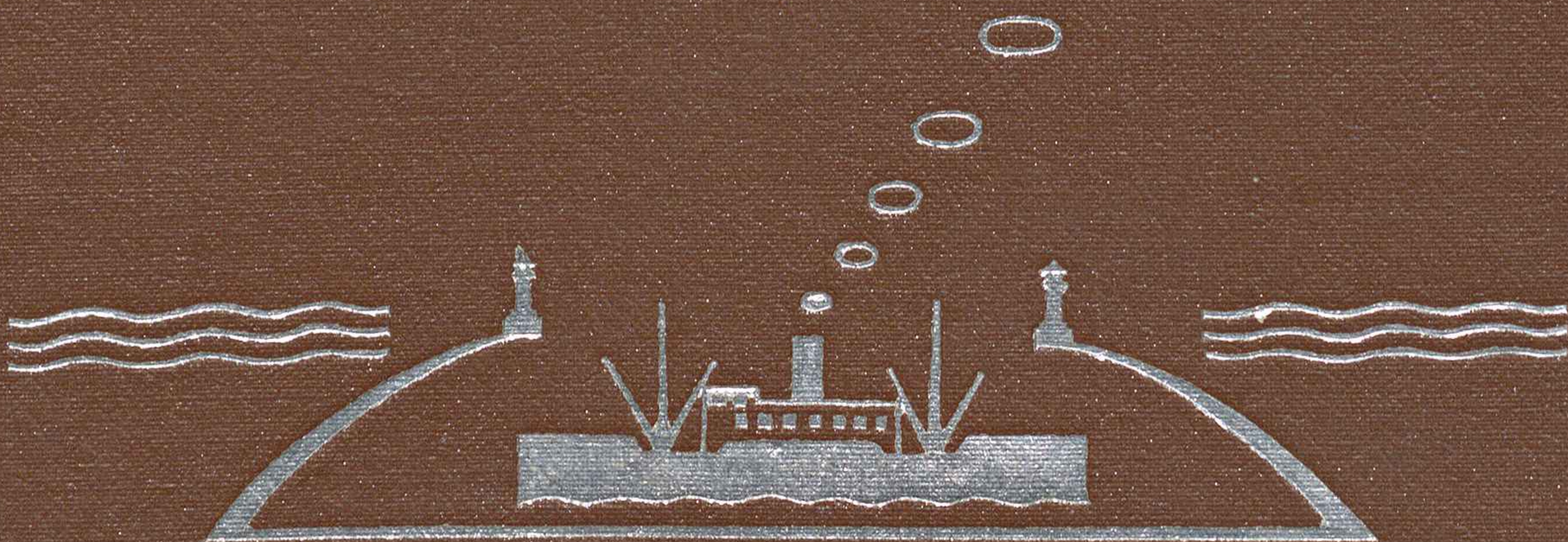
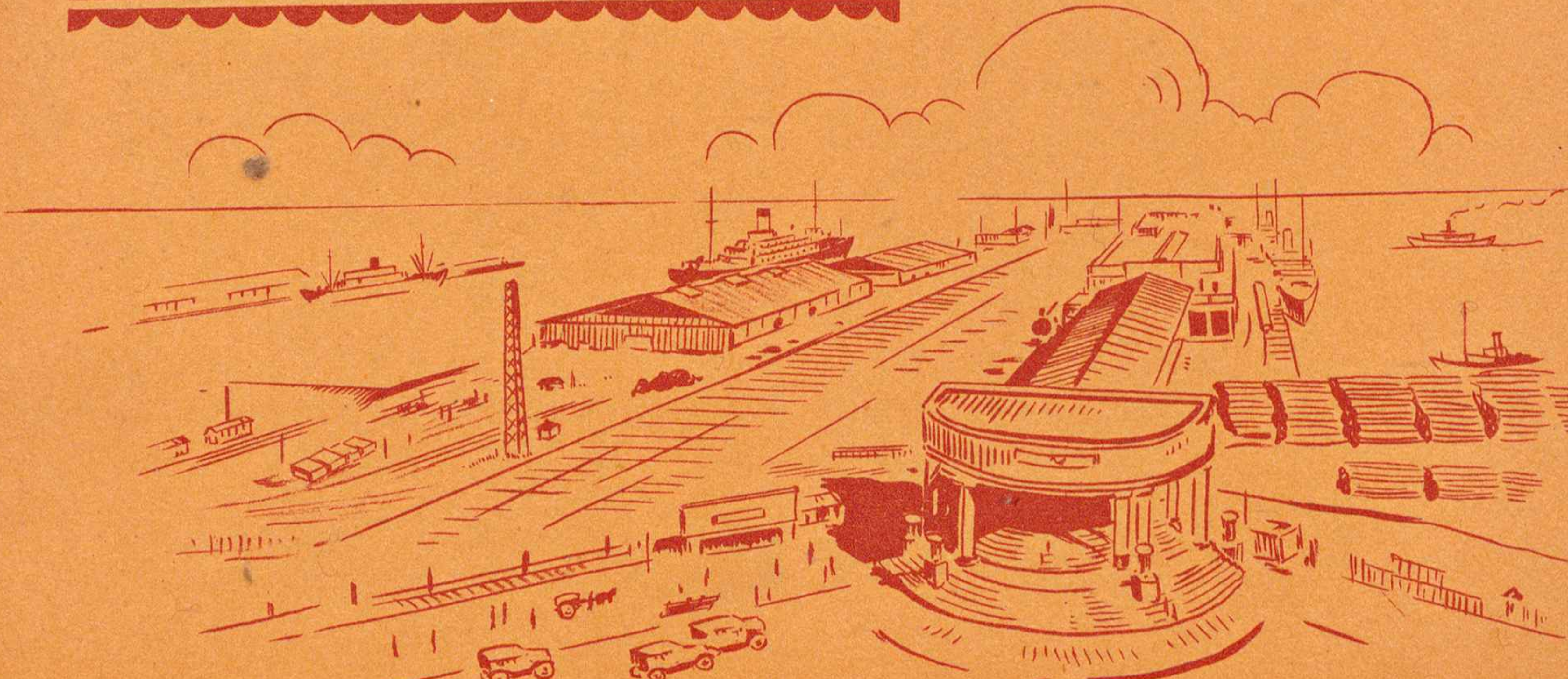
大連の景観



大連の景觀



大連の景觀



巻頭に

大陸！大陸！門司を離れてこゝに二日、水、水、また水の中から憧れの地の影を見出した歡び。黄海の濁水は次第にその色を失つて、いつの間にか紺碧の潮がひた〳〵と船腹を洗つて大連の港に近づく。

港口に印せられた水雷除去の跡の文字に往時を追懐して、早くも船は東洋一の大埠頭に着くのである。其處には嘗つて平沼法學博士が云つた如く（上陸と同時に人の目を驚かすのは埠頭一帶に堆積散亂せる豆類の多量なこと、埠頭に蝟集する苦力の中にはそのこぼれ豆で生計に資するものが多いと云ふ。）その光景がある。又田山花袋氏が（埠頭の大きな建物の上から一目に見下した大連港は流石に私の心を惹いた、私はこの港と汽車との連絡に由つて滿洲の野が、そこに藏されてある物資が荒涼としてはゐるけれども何處かに大きな豊富なものを持つてゐる怪物が日夜世界に向つて動きつゝあるさまを想像した。）と云つてゐるほどの世界的な大きな動きがある。

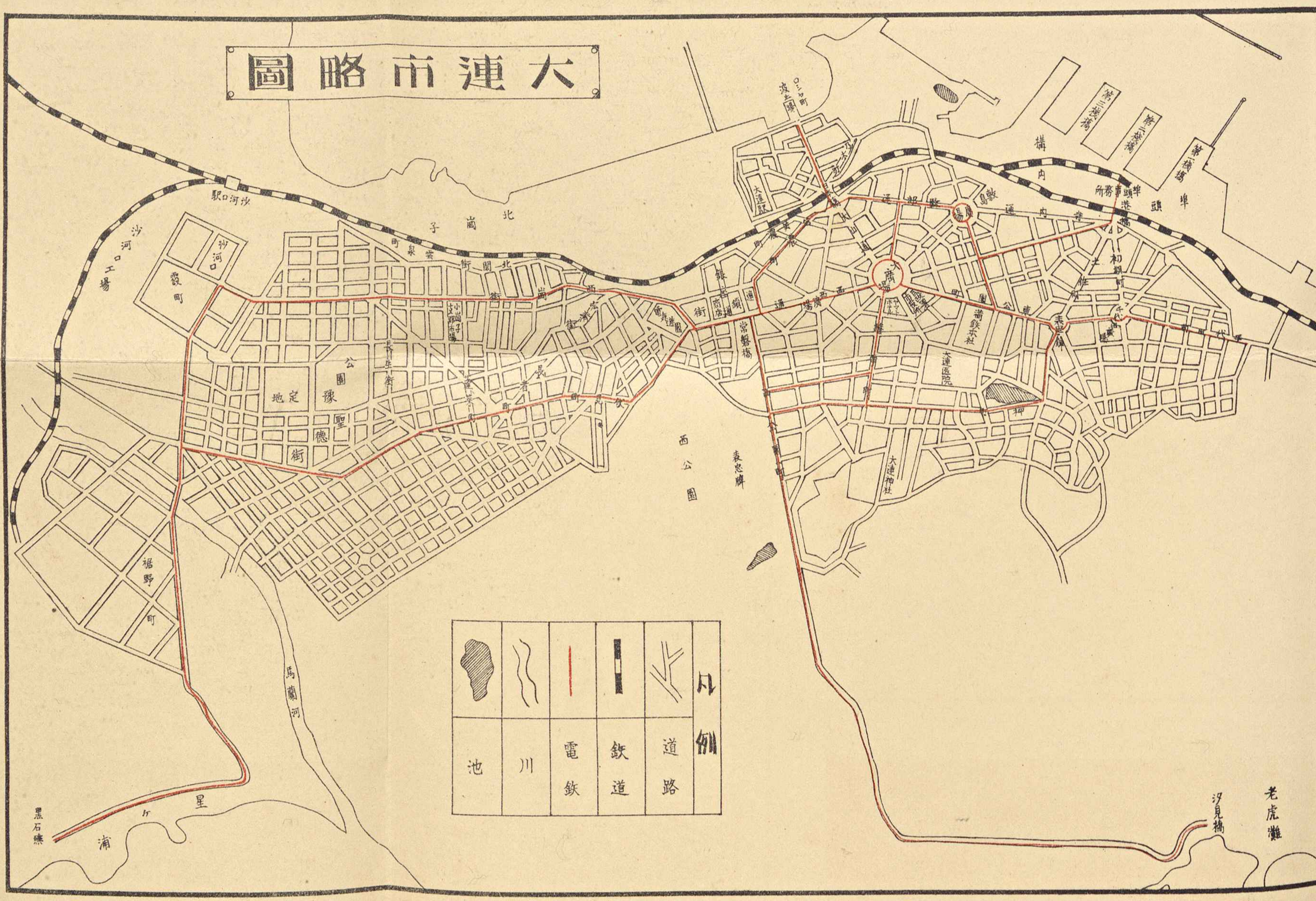
正に大谷光瑞氏が云ふが如く（その規模の雄大なる我帝國中唯一無二なり、關東州の將來は商工にあり、大連の地位は之を兼併せり。）とてこれを見る毎に日本人としては誰しも快感を禁ぜられない大連である。

一百万坪の港内には實に堂々たる設備があり、一年五千隻の船舶を出迎へ、一千萬噸の貨物を呑吐し、貿易額五億圓に上る盛大さ、而してその港によつて開けてゐる人口三十万の大都、大廣場から走る放射街路の美しさ、建ち並ぶ洋風**ビル**の偉觀、公園の爽觀等々近代文化の都市として**コスモポリタン**の市街として實に東洋屈指の壯大さを誇つてゐる。

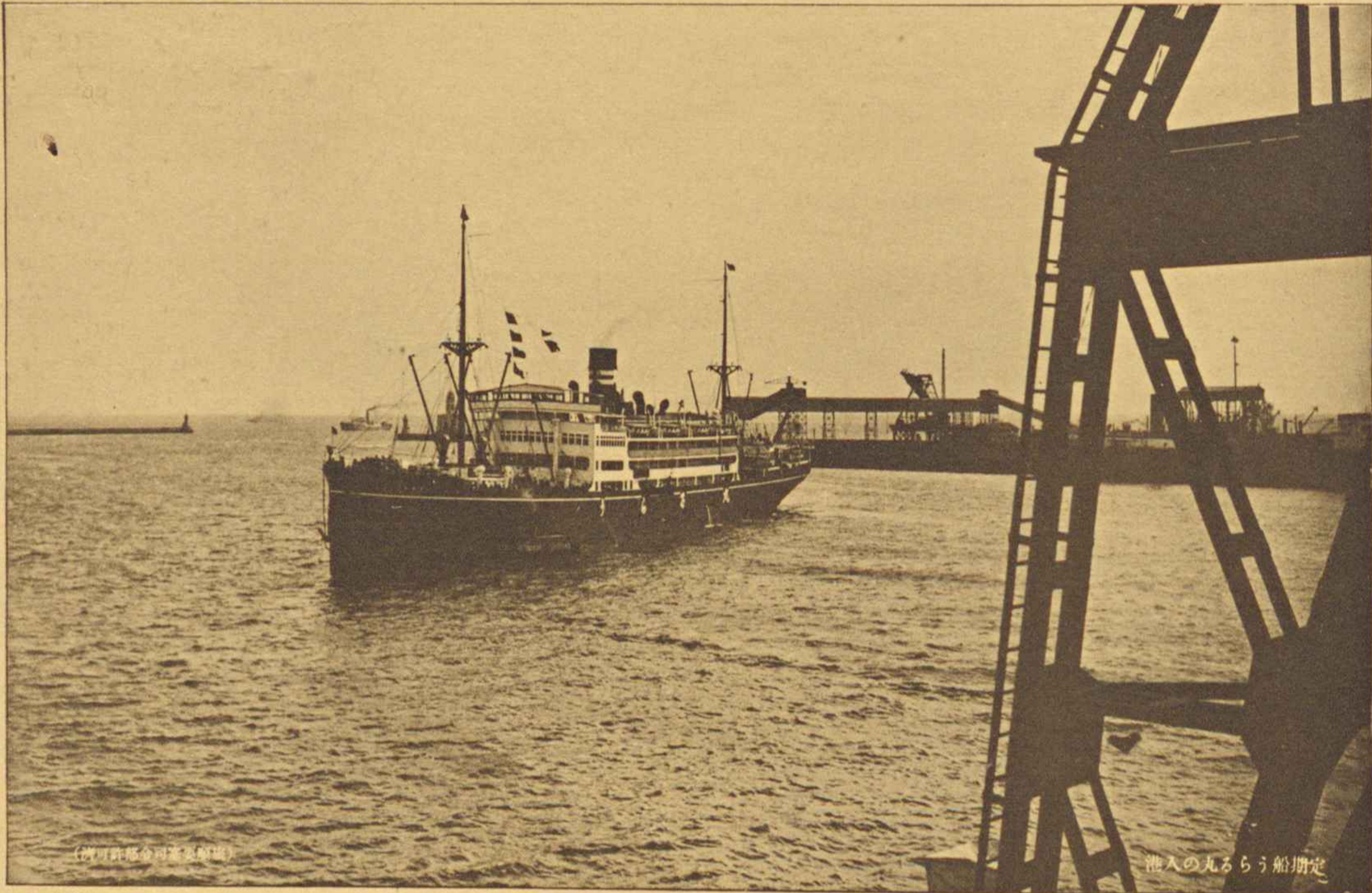
思へば明治三十二年の昔、露國が今日の基礎の第一石を置き、續いて我國が今日の大を築いた、その間僅か三十余年だ、この短年月をもつて五六軒の漁師の家と十五六棟の農家とがあつたに過ぎぬ寥々たりし寒村『青泥窪』が現在の如く發展したのである、轉た感激に堪えぬものがあるであらう。

本寫眞帖は數十葉の寫眞を輯め高級**コロタイプ**印刷をもつてその大連を出來る丈け忠實に描出したのであるが、幸にも皆様の爲めに或は一片の資となり、伴侶となり、又永くその座右に飾られるならば實に編者の光榮とするところである。

大連の景觀 目次


大連市略圖
凡例
道路
鉄道
電鉄
川
池
沙河口駅
沙河口工場
沙河口
霞町
北崗子
聖徳公園
予定地
聖徳街
裾野町
馬蘭河
星ヶ浦
黒石礁
西公園
表忠碑
常盤橋
大連駅
大広場
西広場
満鉄本社
大連医院
大連神社
構内
埠頭
第一桟橋
第二桟橋
第三桟橋
汐見橋
老虎灘

Reaching Dairen Port.


定期船うらる丸の入港

大連港に入る

大連港は門司を距る六百四十浬、五六千噸級の日滿定期連絡船は丸る二日足らずで到着する。港は一百萬坪の海面を里余の防波堤が包圍して造られてゐる。港口には日露戰爭當時の水雷除去の跡があつて、防波堤の両端には紅白の火を点ける燈台が立つてゐる。連絡船はその間を抜けて靜かに港内第二埠頭へ向ふ。流石大滿洲の海の玄關、東洋一の大港だとその壯大さに舌を卷く。

Pier of Dairen Port.



(旅順要塞司令部許可濟)

大連港埠頭の大觀

大連港埠頭

日滿定期連絡船の横付られる埠頭は第二埠頭で、長さ六百六十七米、幅十三米、港内の中央突堤である。その岸壁附近の水深は九米乃至十二米余あつて、二萬噸の船を繫留することが出來る。其處には鐵筋コンクリート二階建の船客待合所があり、船客來降の便宜を計る爲めに跨線橋も設けられてゐる。尙ほこの埠頭からは大連汽船會社の上海航路と天津航路が開かれてゐる。

Passengers' Waiting House.

船客待合所

成程、大滿洲帝國の玄關だと肯かれる船客待合所の立派さ、鐵筋コンクリートの二階建で、待合所はその階上になつてゐる。廣さ約千四百余坪、岸壁側には長さ約二百五十一米のベランダがあり、内部には埠頭船客案内所、各汽船會社、銀行の出張所、食堂、娯樂室、化粧室、婦人室、圖書室、賣店の設けがあつて一時に五千人の旅客と送迎者を容れることが出來る。



待合所の内部


(旅順要塞司令部許可濟)
待合所玄關前



待合所玄關よりの景觀

Pier Office of S. M. R. Co. and Main Streets.



滿鐵埠頭事務所

（旅順要塞司令部許可濟）

埠頭事務所と山縣通と寺内町

滿鐵埠頭事務所は大正五年に起工し同十二年八月竣工した。總延坪六千二百五十坪、鐵筋コンクリートの七層建で、屋上には無線電話、埠頭羅針局、信號所などがあり、地上よりの高さ三十米余、其處から大連港の全景と市街を一眸に收めることが出來る。山縣通と寺内町は埠頭船客待合所の前から西に向つて走る大道路、山縣通は中央大廣場へ、寺内町は敷島廣場へと出る。



山縣通と寺内町（右）

（旅順要塞司令部許可濟）

二取引所と稅關

大連の經濟活動を圓滑にし、その重要なる中心機關となつてゐるものに滿洲重要物産取引所と五品取引所がある、前者は大正二年の創立、拂込資本金五百三十七万五千圓、取引物件は大豆、高粱、豆粕、豆油。後者は拂込資本金百二十五万圓、有價證券、麻袋、綿糸布、麥粉、砂糖を取引物件とし大正八年の創立である。大連稅關は滿洲帝國各稅關中にて最も重要なる地位にある。

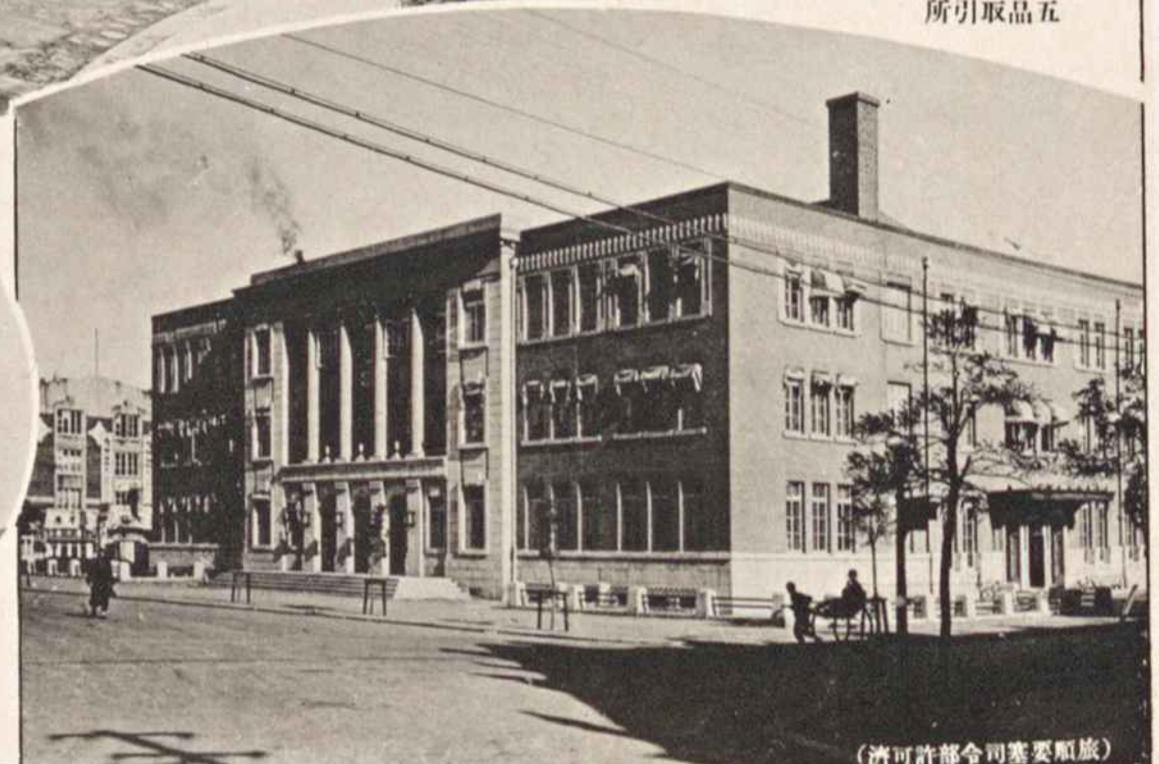


滿洲重要物産取引所



五品取引所

(旅順要塞司令部許可済)



稅關本舘

(旅順要塞司令部許可済)



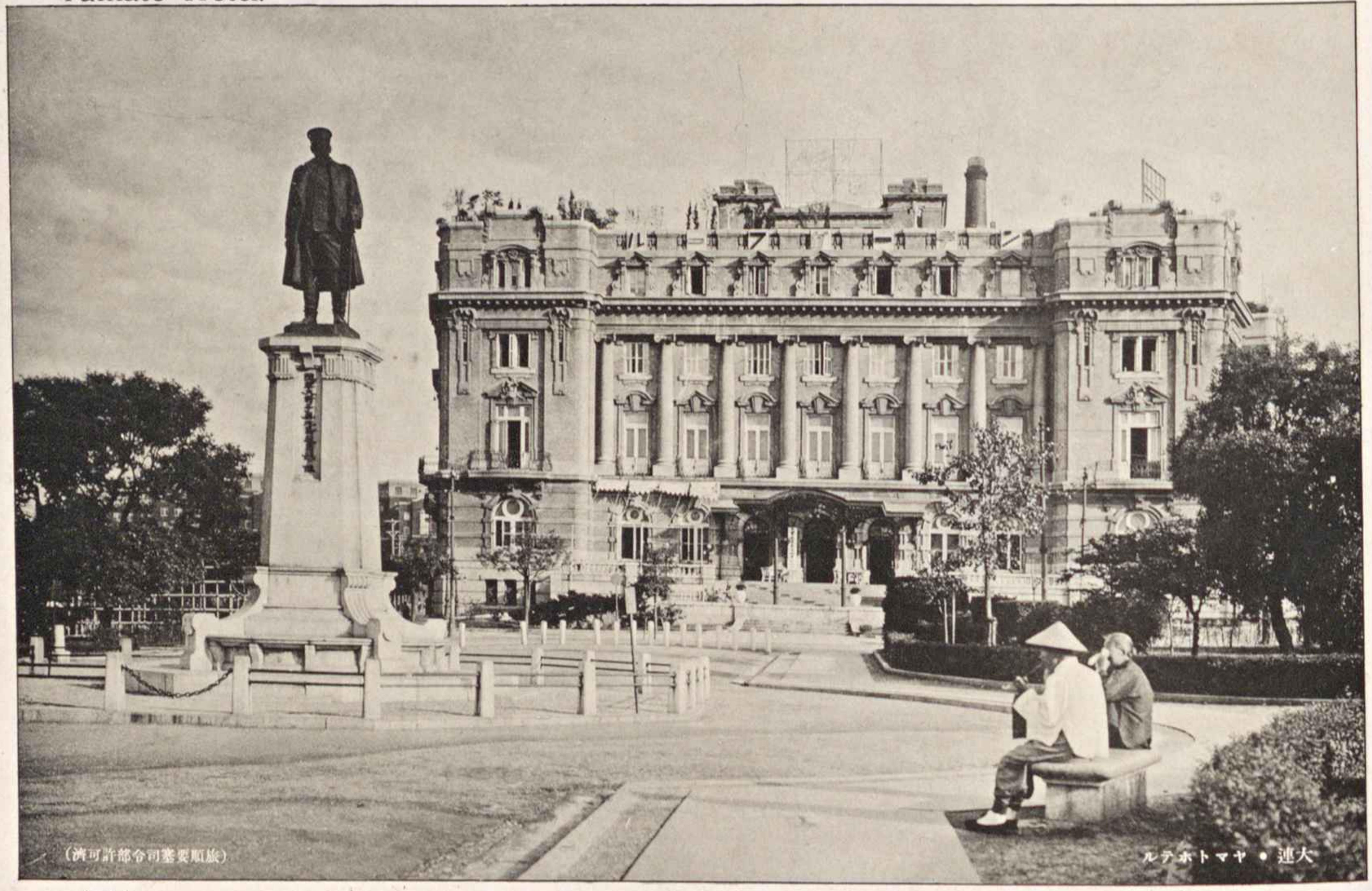
中央大廣場の美觀

（旅順要塞司令部許可濟）

中央大廣場

丁度車軸のやうに大連の市街はこの大廣場を中心さして十本の路線を各方面に放射してゐる。その廣さ一萬八百余坪、場内には綠樹爽かなるローングラウンドが設けられ街行く人の疲を休め、憩ひに喝ひた人の心を醫す、殊に夏の宵は側近くのヤマトホテルの屋上からオーケストラの快よきメロディが靜かに洩れ聞えて、その日の暑さを忘れる樂しき納涼場となる。

Yamato Hotel.



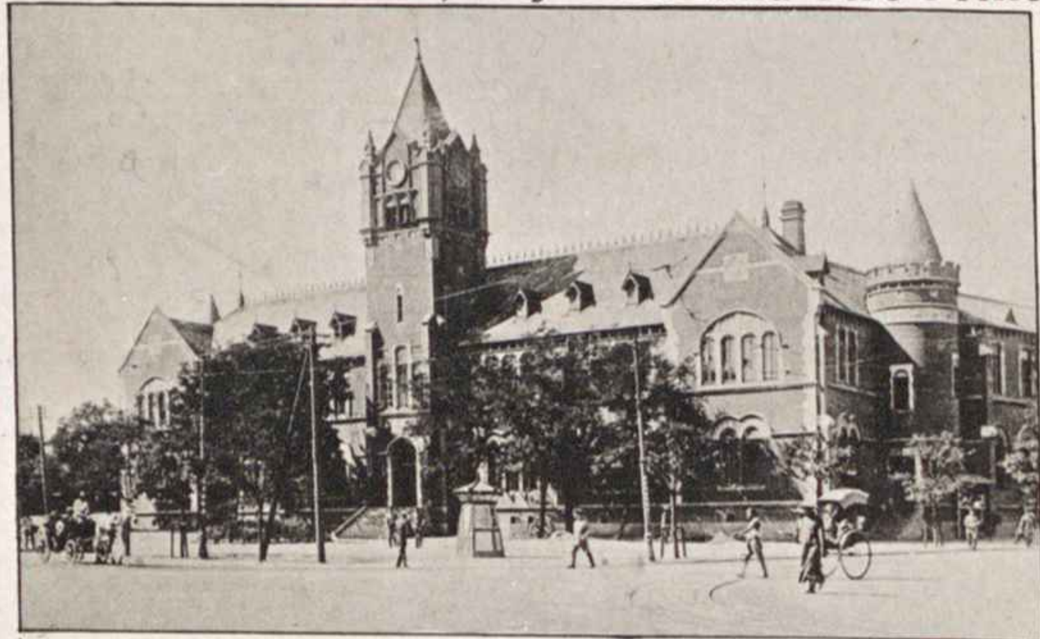
(旅順要塞司令部許可濟)

大連・ヤマトホテル

ヤマトホテル

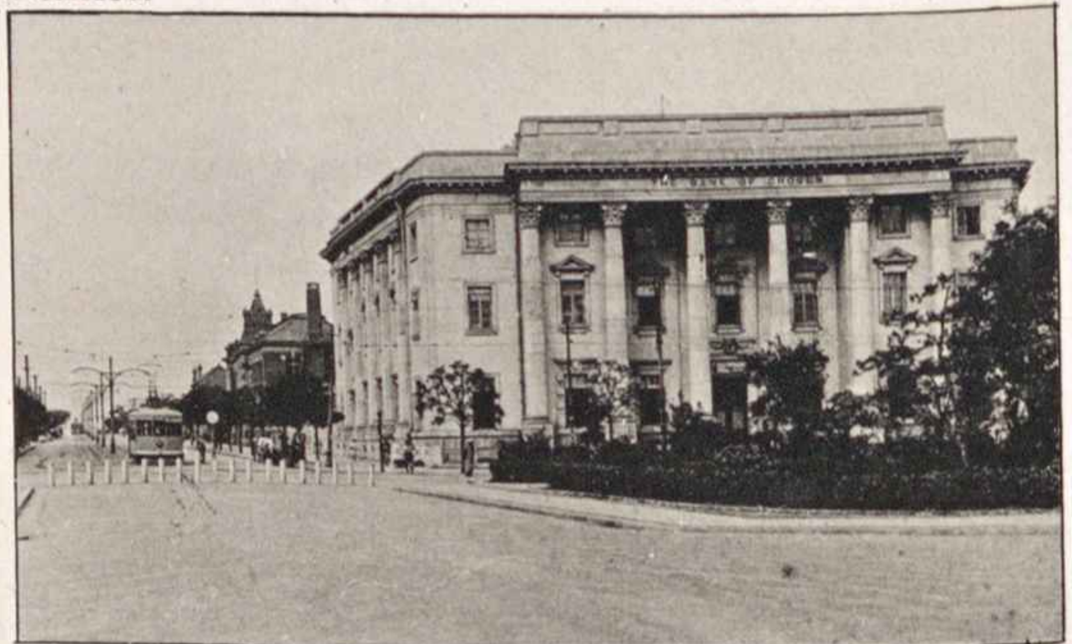
ヤマトホテルは中央大廣場の南畔にあつて、その壯大華麗な輪奐は四隣を壓してゐる。又屋上には庭園を設へ、音樂隊を備へてゐる。滿鐵の經營で純洋式ホテルである。前面の大廣場内には最初の關東都督大島大將の銅像が儼然と立つてゐる。大將は開け行く大連港を望んでさも歡ばしげである。更に大將の銅像の前には里程元標が立つてゐる。

Police Station, City Office and Two Principal Banks.



(旅順要塞司令部許可濟)

大連警察署



(旅順要塞司令部許可濟)

朝鮮銀行支店



(旅順要塞司令部許可濟)

大連市役所

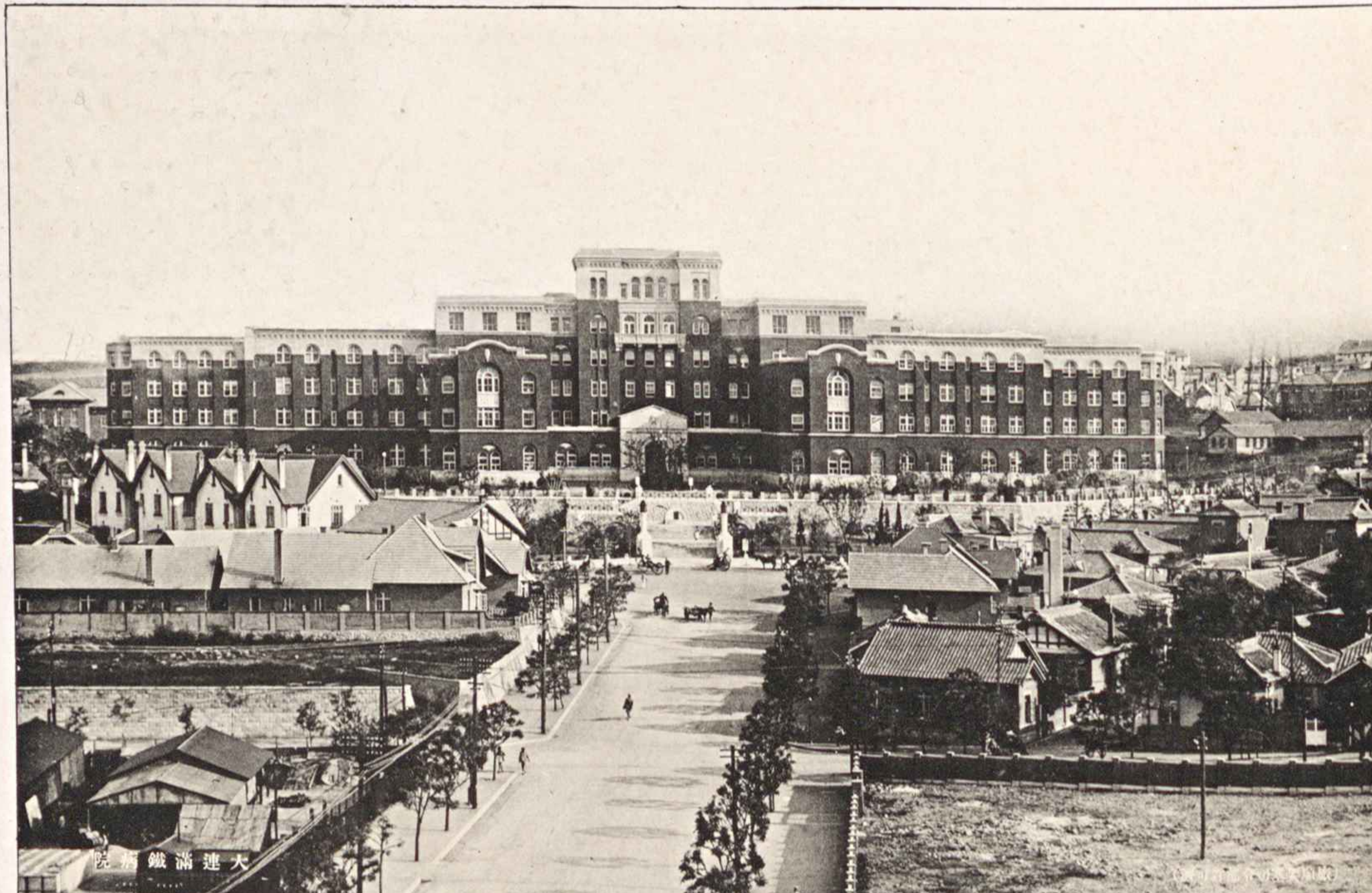


(旅順要塞司令部許可濟)

正金銀行支店

大連警察署と鮮銀支店
大連市役所と正金支店

大連警察署は中央大廣場の西南畔にあつてその尖塔のあるロシア風の建物は一異觀である。朝鮮銀行支店は警察署の向つて右隣で、その間を西通が走つてゐる。建物は頗る莊重典麗である。大連市役所は實に堂々たる大建築で、大廣場の白眉である。丁度廣場の東畔に位置してゐる。横濱正金銀行支店は奥町と大山町の出口に狭まれその輪奐壯麗を極めてゐる。



滿鐵病院

恐らく東洋一だらうと云はれる大連の滿鐵病院は中央大廣場の市役所とヤマトホテルの間を東南へ突當るところにあつて、大正十二年三月から三ケ年にして竣工、近世ローマネスク鐵筋コンクリート煉瓦張りの大建築で、本舘は六層、その工費六百余万圓、總延坪一萬三千六百六十余坪、病床數五百八十余、各科の施設悉く完備し、滿洲の醫界に絶大なる貢獻をなしてゐる。

Main Office of S. M. R. Co., Ltd.



滿鐵本社

滿鐵本社

八億万円の資本金を有する南滿洲鐵道株式會社は單に『滿鐵』(S・M・R・)の略稱で天下に響いてゐる。それは滿鮮地方のわが鐵道を經營する外鑛業、製鐵、海運、港灣、敎育、衛生等の事業を兼營し、滿洲發展の一大源動力となつてゐる。その過去に於ける貢獻の跡を見ても如何に大なる活躍をなし來つたかゞ窺はれる。事務所は大廣場の東、東公園町にある。

Shopping Street Naniwa-machi.



浪速町通

(旅順要塞司令部許可濟)

浪速町通

アカシアの街路樹の蔭爽かなる浪速町は大連の銀座と呼ばれるショッピング、ストリートであり散歩街である。マカダム鋪裝の路面も美しく、立ち並ぶ街燈も優美である。兩側には大小の商店がギッシリ軒を列れ、夜はその輝かしい店頭飾に燦然たる光彩を添える。滿洲を旅する人々は是非その一夜をこの街のそゞろ歩きに大連情緒を味はなければならぬ。

Main Streets, Oyama-dori and Yamagata-dori.

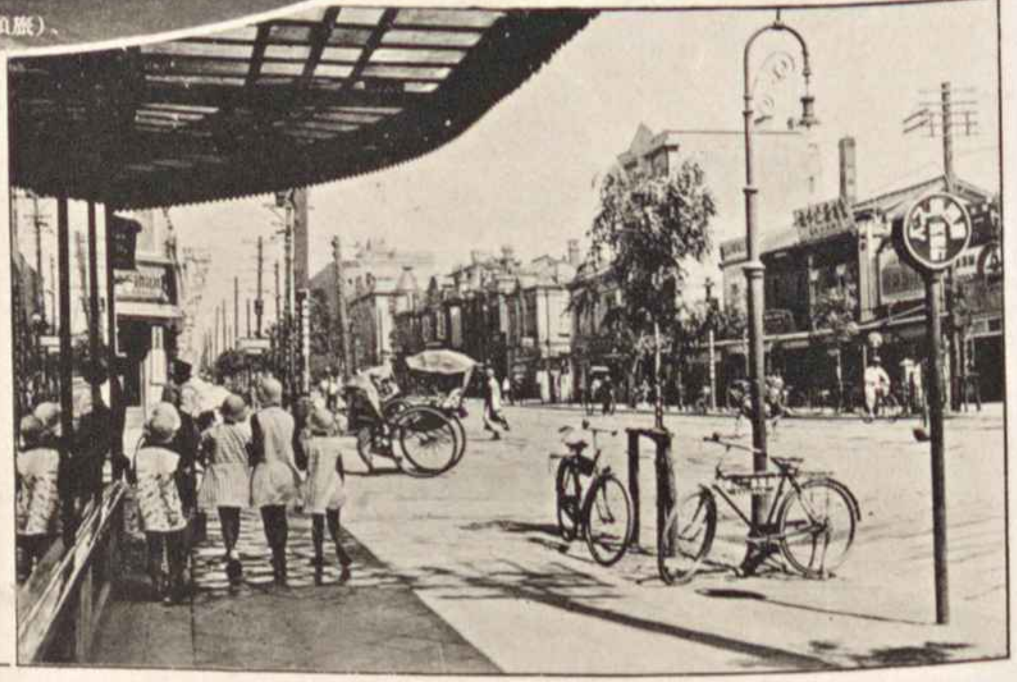
大山通と山縣通


大連郵便局と三越百貨店

(旅順要塞司令部許可濟)


山縣通

(旅順要塞司令部許可濟)


大山通

(旅順要塞司令部許可濟)

大連の市街はロシアによつて開かれたがその完成は全く我國である。而もそれは明治三十七、八年戰役後に成つた。ロシアがチンニーワと云つてゐた市街の名を大連と改稱したのも明治三十八年紀元節の當日であつた。だからその町名にも戰役に活躍した將軍の名を採つて大山通、山縣通、奥通なごといふのが主要幹線道路となつてゐる。大連郵便局と三越百貨店はその大山通にある。

Busy Streets, Tokiwa-bashi-dori and Ise-machi.

常盤橋通と伊勢町

大廣場から西通を西へ進むと常盤橋がある。その附近は大廣場、日本橋、老虎灘、伏見台、小崗子方面よりの電車の交叉点で、通りには洋風の大厦高楼が街頭を壓して立ち、往来頻繁まことに殷盛である。伊勢町通は日本橋から西廣場へ通ずる街路で、浪速町通と共に店飾り華かな大小の商店櫛比するショッピング・ストリートさして栄えてゐる。

常盤橋通り



（旅順要塞司令部許可濟）



伊勢町



（旅順要塞司令部許可濟）

View of Chain store street.



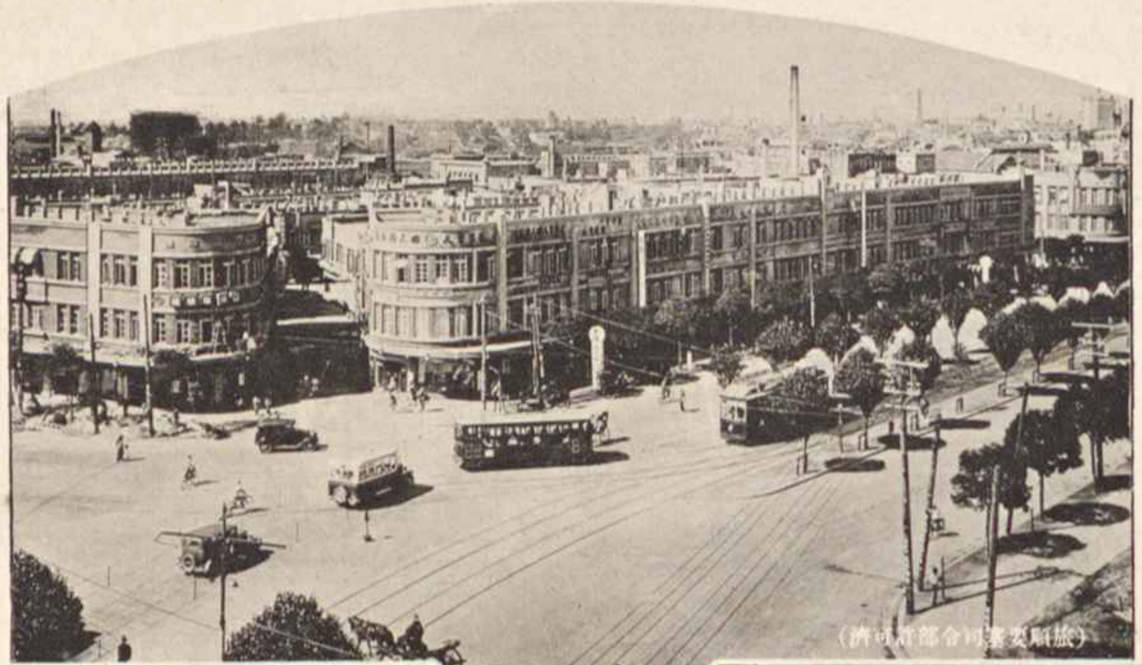
連鎖商店街大觀

常盤橋は日本橋と同じく陸橋であつて大廣場、伏見台、日本橋、老虎灘、小崗子方面より來る電車の交叉点たる至便の地であり、又附近には電氣會社瓦斯會社、市場、バス營業所等々があるのみならず、最も近代的なる百貨店とも云ふべき、連鎖商店街も出來てゐて、市民の生活に最も重要な地点であるから、この邊は人車の往來最も頻繁を極めて居る。

連鎖商店街

二百有餘の各種専門商店が協同して一ツの統一ある体制と形式の下に整然とした商店街をつくつてゐるのが連鎖商店街である。丁度三越や白木屋などがエレベーター式高層建築をもつて各種の商品を網羅してゐるやうに此處では平面的に出來上つた街が各種の商品を提供してゐる、だから百貨店の街とも云はれやう。兎もあれ、大連の新名所として一度は足を向けて好いところである。

連鎖商店街



(旅順要塞司令部許可濟)
連鎖商店街

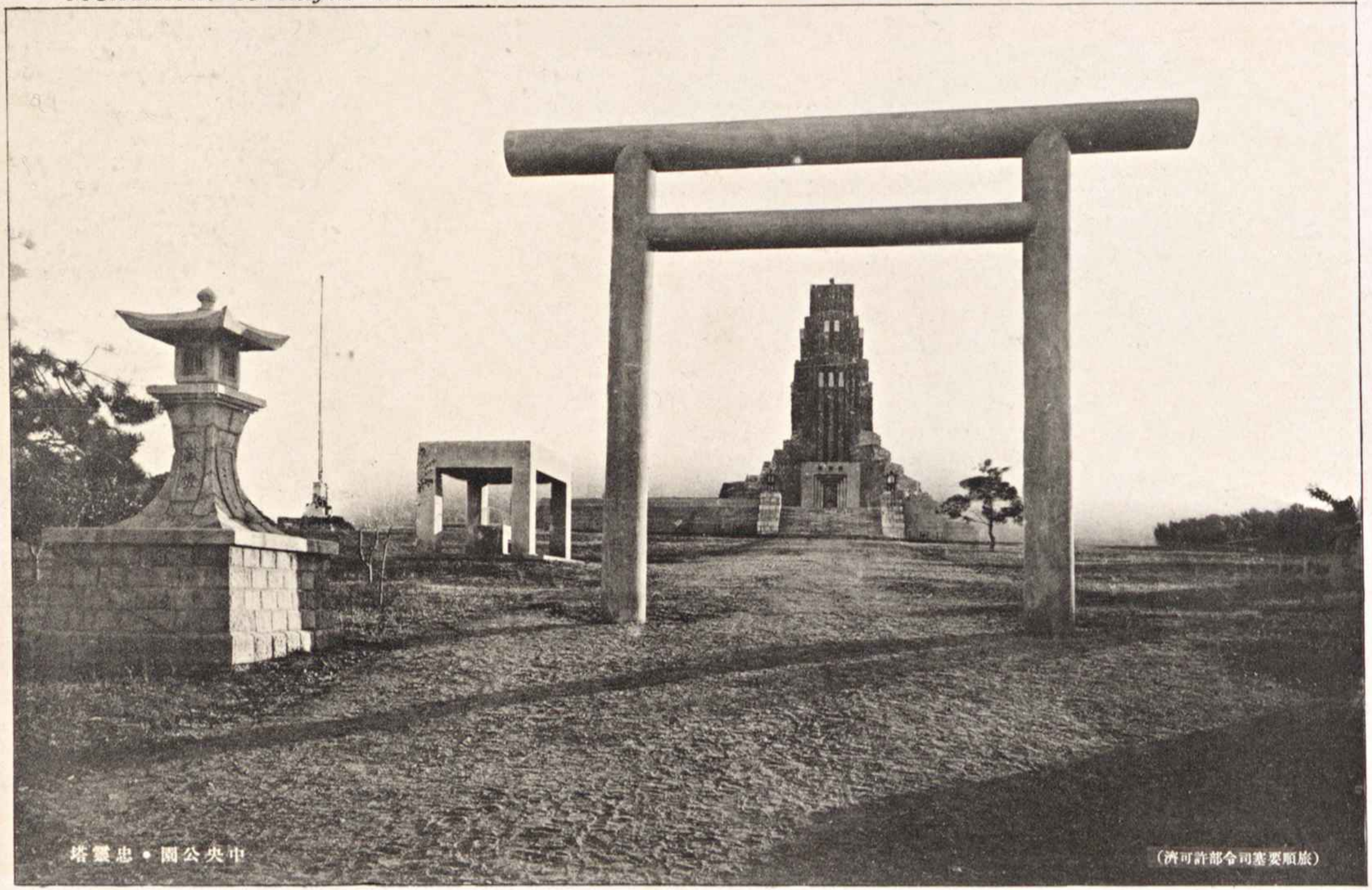
(旅順要塞司令部許可濟)



連鎖商店街



Monument to Layal Dead.



中央公園・忠靈塔

（旅順要塞司令部許可済）

忠靈塔

明治三十七、八年戰役に蓋平以南大連附近で陣沒した皇軍將士の靈灰奉安所たる忠靈塔は中央公園の丘上にある。大連の地は日淸戰後三國干渉によつて返還の止むなきに至り日露戰役によつて再び我が經營に戻つたもので、今日の大連市の繁榮は一つに當時奮戰祖國の爲めに尊き血を捧げた我が軍人の賜である。忠靈塔に詣でる者その前景に展開する大大連を望み感慨なき能はぬであらう。

Central Park and large Play-Ground.

中央公園と大グランド



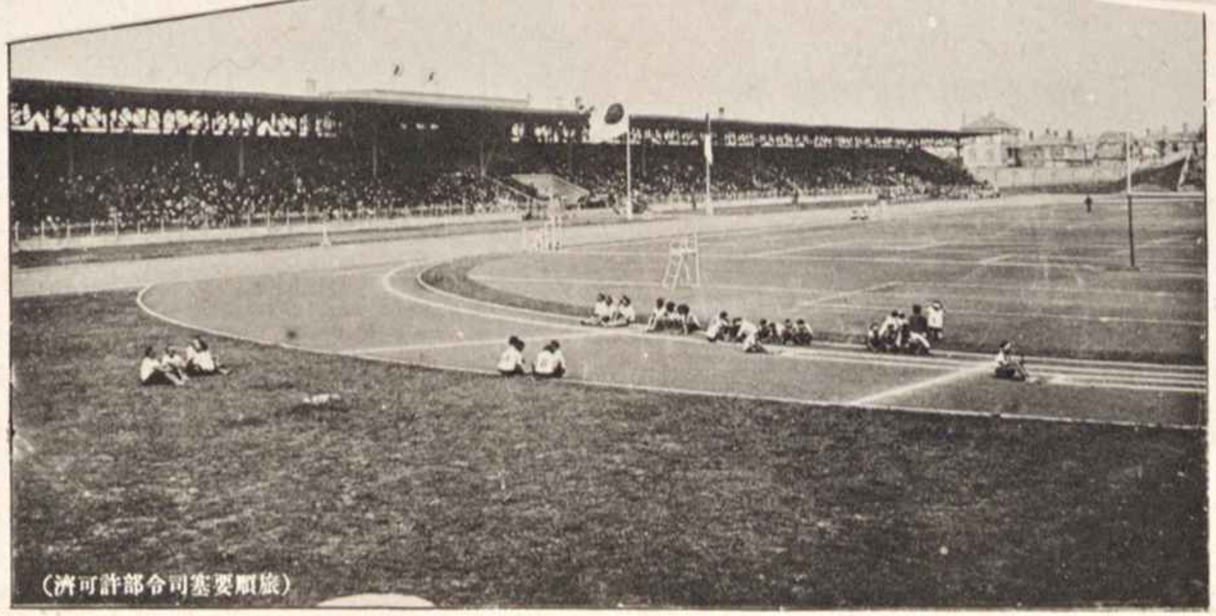
(旅順要塞司令部許可濟)

中央公園の入口



(旅順要塞司令部許可濟)

中央公園
アカシヤ並木



(旅順要塞司令部許可濟)

大グラウンド

五十萬坪の廣大な地域を劃する中央公園は大連市の背後をなす綠山の山麓に位置する丘陵地帶で、鬱蒼たる綠林や葱々たる綠叢、アカシア並木の逍遙道路などあつて常に清新の氣に滿ちてゐる。入口の虎溪橋は昭和四年八月の竣工、大グランドは公園内にあつて、その開場式にはフランスの選手を迎へて催を盛にした。その設備さ規模の大なることは東洋に冠たるものである。

Dairen Shrine and Detached Temple of Honganji.

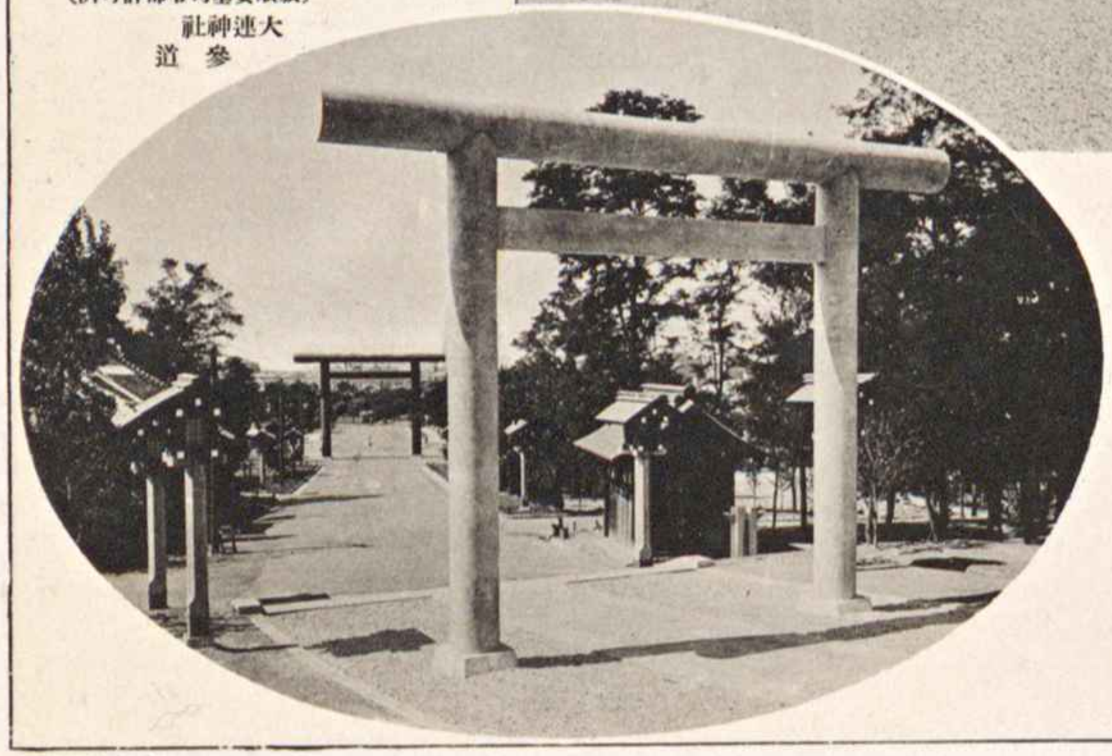
大連神社と本願寺別院

大連神社は南山の麓、清淨な境域に鎭座し、天照皇太神、大國主神、靖國神を祀つてゐるが、在留邦人の尊崇篤く、鳥居、献燈の立つ淸らかな參道突當りの拜殿には常に拍手の音が絶えない、殊に五月十日と十月一日の例祭日には參拜者群集して賑かである。西本願寺別院はその大連神社の近くにあり、又東本願寺別院もその近くにある。



大連神社

(旅順要塞司令部許可濟)



大連神社參道

(旅順要塞司令部許可濟)

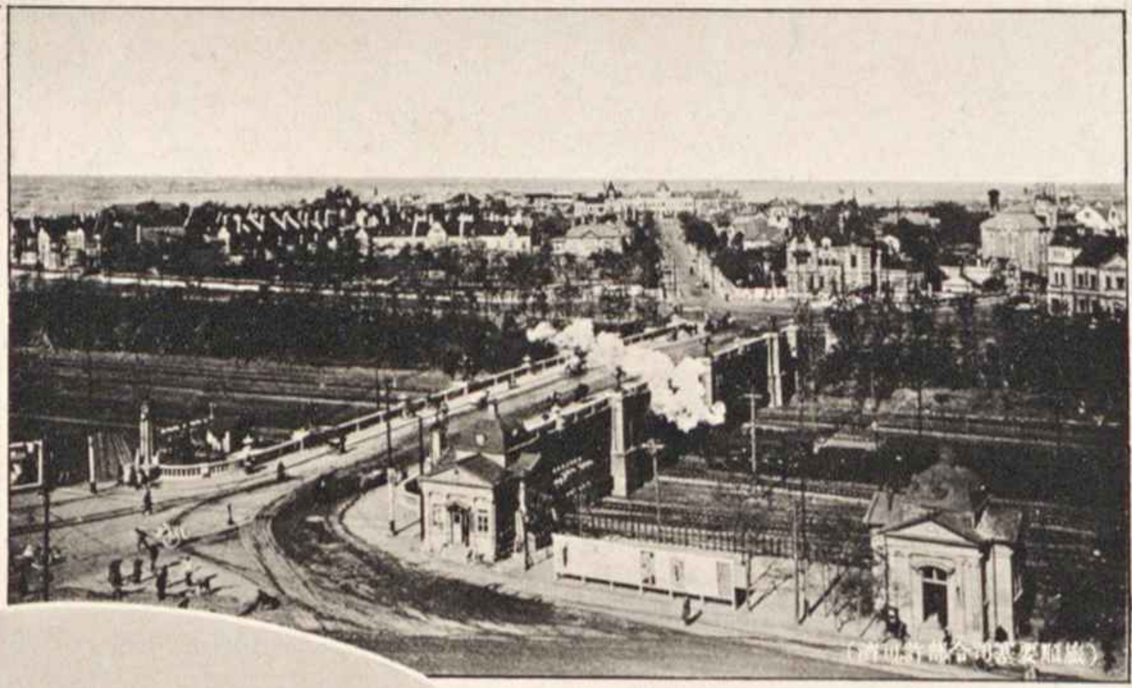


西本願寺別院

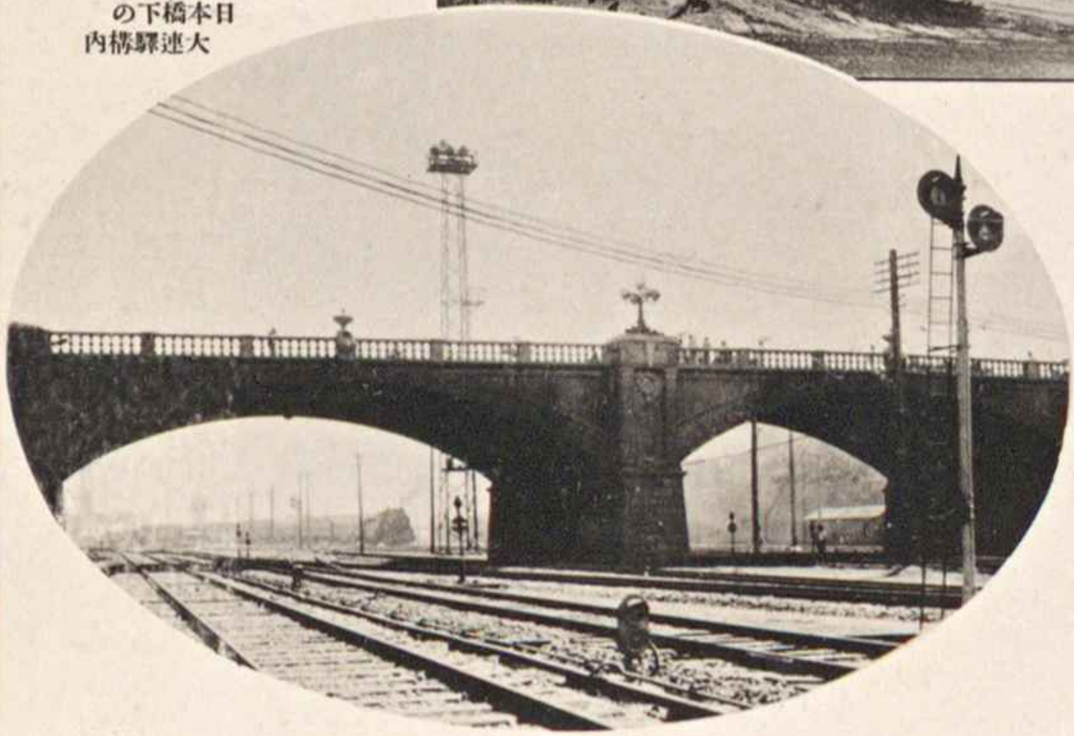
(旅順要塞司令部許可濟)

日本橋とその畔

中央廣場から西北に通ずる大山通の末端に日本橋がある。橋は陸橋で、橋下は南滿洲鐵道の發起点たる大連驛の構内である。十五萬余圓の工費と二ケ年の日子を要して完成した丈けに頗る優美典麗である。橋を渡るとロシア町で、露治當時には市役所、港灣事務所、鐵道事務所、發電所などの廳舍と役人の官舍があつて整然たる官衙街をなしてゐた。



日本橋を隔て、望むロシア街



(旅順要塞司令部許可濟)
大連驛構内
日本橋下の



日本橋の畔

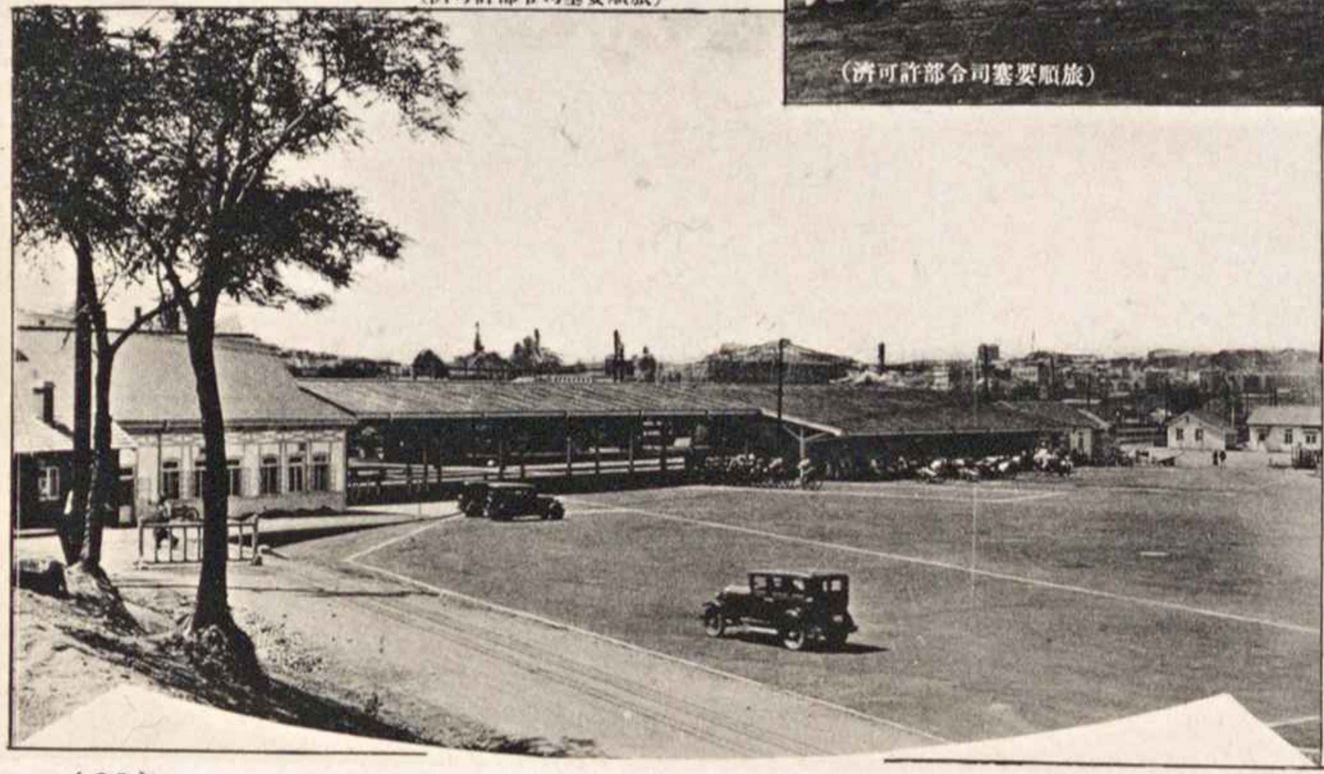
大連停車場

大連停車場は日本橋の畔にあつて、埠頭からは臨港線が走りその間を連絡してゐる。南滿洲鐵道の發起点として最も重要なる停車場で、終点の新京まで四三五、五哩、中間の奉天へは二四六、四哩ある。旅順へは此處から旅順行が特發され列車は周水子驛から分岐して行く、大連旅順間三七、一哩鐵道開通以來三十余年間未だ假驛舍で濟ましてゐるが、今に驚くべき大驛舍が新築され上陸第一歩の地を飾るであらう。



大連驛構內

(旅順要塞司令部許可濟)



大連停車場

(旅順要塞司令部許可濟)



Manchurian and Mongolian Product Museum.



滿蒙物產參考館

日本橋からロシア町へ入つて兒玉町の突當りにある。大正十五年十月五日の開館で、滿鐵會社の經營にかゝり、主として滿蒙の鑛產、農產、林產、商工參考品等各種滿蒙產原料及び其の加工品の實物標本、模型、參考資料を蒐集し之に說明圖解を加へ是等の基礎的或は學術的研究の一般を示し以て滿蒙の資源を紹介し產業の振興發達に資してゐる。

Junk Pier.



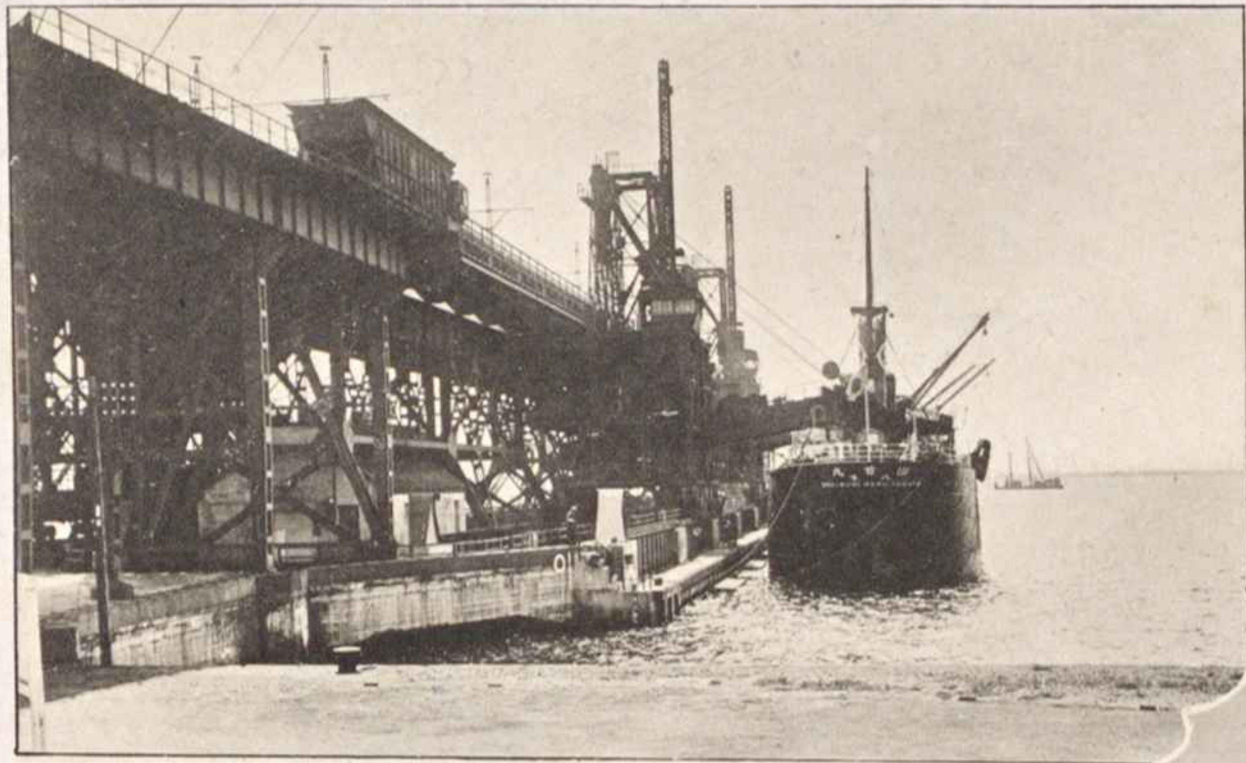
ジャンク波止場

中央大廣場から大山通を西北へ日本橋を渡つてロシア町に入り北大山町通りを突き貫けると所謂ロシア町のジャンク波止場がある。丁度大連築港の西外側にあつて、滿洲特有のジャンクの爲めに設けられた埠頭である。それらは大豆や豆粕を滿載して内外地への輸送に當つてゐる。汽船のやうに近代的な鋭角美こそないが、その獨特の船頭歌が醸す滿洲情趣は捨て難い。

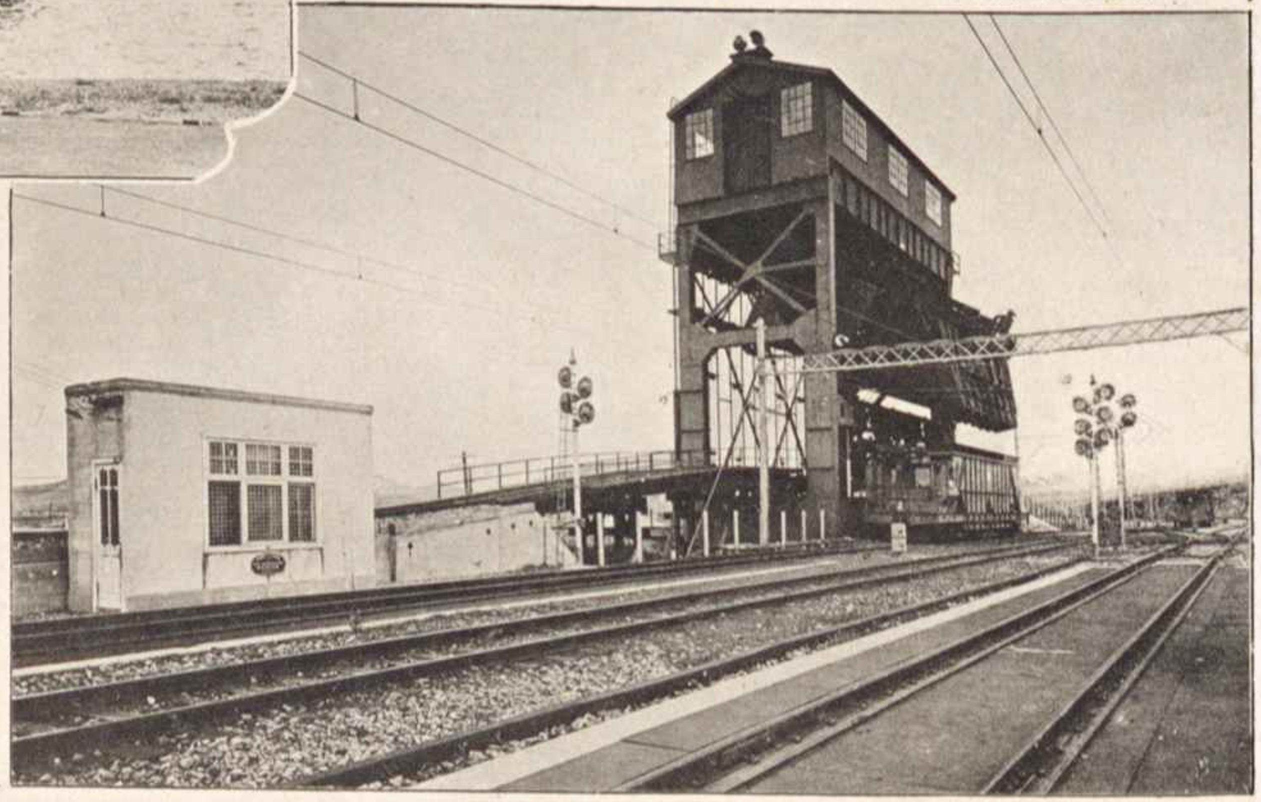
Coal Pier.

甘井子石炭埠頭

甘井子石炭埠頭は石炭船積みの専用埠頭で、大連港に集る輸出石炭の積取船を全部こゝに集中してゐる。その長さ約四百二十四米、両岸壁に大型汽船各一隻を繋留することが出來、又一時間に約千噸の石炭を積載する能力のあるカーダンパー（石炭積込機）を備へ一ヶ年三百萬噸の石炭を船積してゐる。自動的の石炭運搬車が高架桟橋を疾走して巧みに船積みする光景は港頭の一異觀である。



甘井子石炭埠頭の石炭積込み　（旅順要塞司令部許可済）

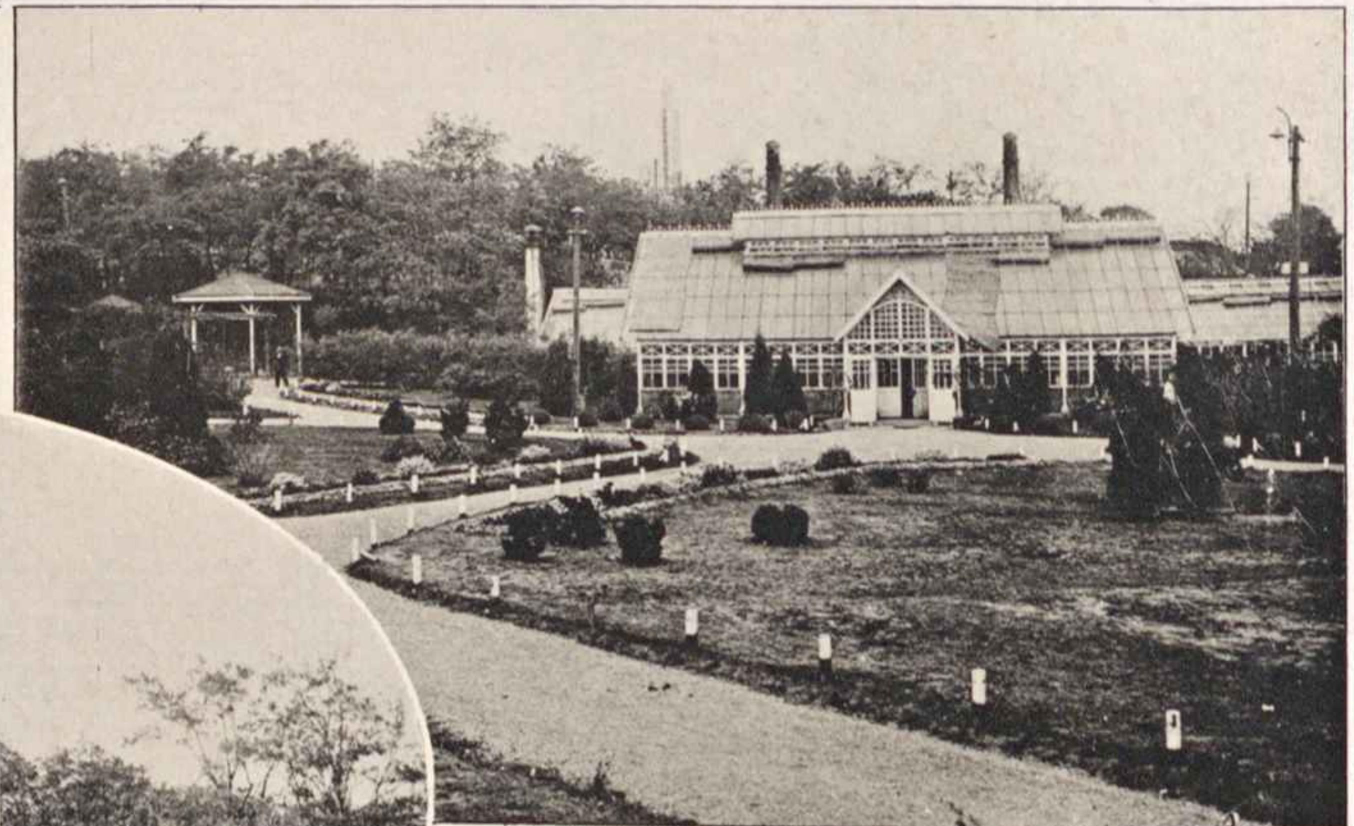


甘井子石炭埠頭のカーダンパー　（旅順要塞司令部許可済）

Electric Pleasure Garden.

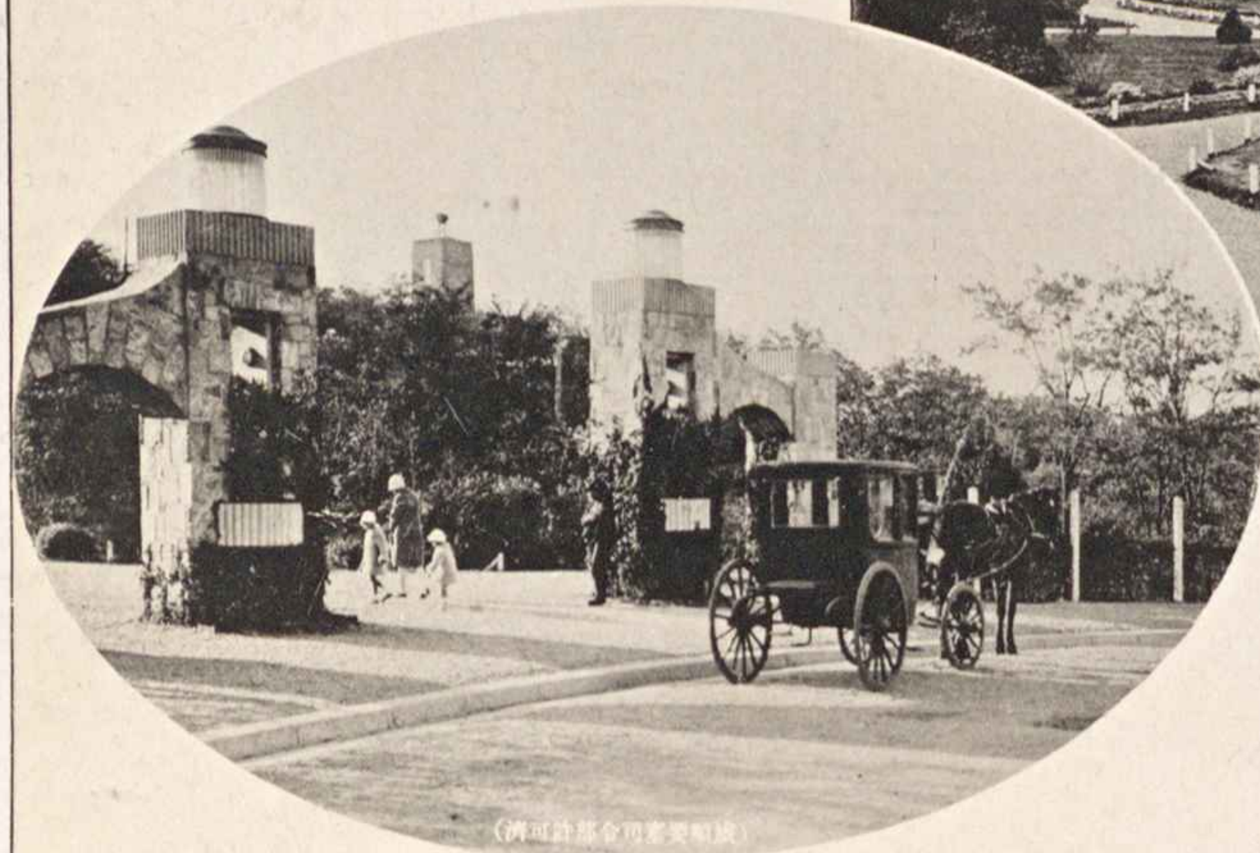
電氣遊園

滿鐵の經營に係る電氣遊園は市の中央伏見台の一角にあつて、全市街を一眸に收め灣を隔て、大和尙の連峯を望む景勝の地、園内には溫室、花園、植物園、圖書館、演藝館、スケーティンググランド、ボーリングアレー、メリーゴーラウンド、喫茶店、支那料理店等があり、各種の娛樂設備が整つてゐる。殊に夜間は全園イルミネーションを施し絢爛畫を欺くばかりである。



(旅順要塞司令部許可濟)

電氣遊園・溫室

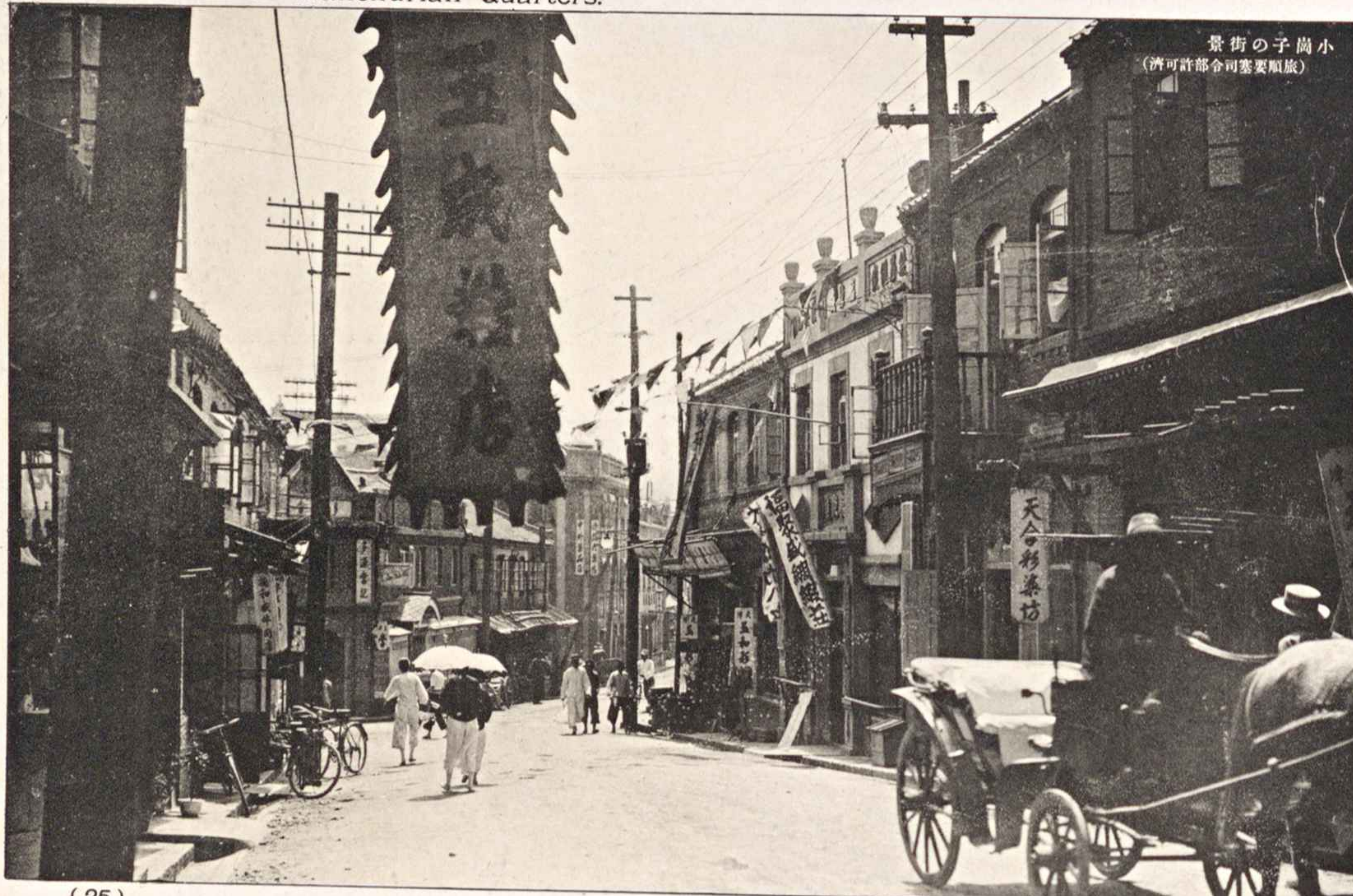


(旅順要塞司令部許可濟)

電氣遊園



Street View of Manchurian Quarters.



小崗子の街景
（旅順要塞司令部許可済）

小崗子の街景

小崗子はもと市の西部に設けられた滿洲人街で、二十年前には見る影もなき汚ならしい街であつた、今は市の中央部となつて堂々たる煉瓦建の二層三層樓が立ち並び殷盛な商店街を現出してゐる。これは彼の暗黒政治の舊軍閥時代にも日本警察の手によつてその生命財産が保護され、又僅少な營業税と家屋税を負担するだけでよかつたからである。

Manchurian Temples.

天后宮と大連寺

滿洲の宗教には道教、佛教、儒教、回々教、喇嘛教があり、何れも幾百千年の歷史を持つてゐるが、特に儒教は知識階級に尊崇され、道教は民衆的宗教として久しく國民の信仰を得てゐる。天后宮は道教に屬し滿洲人の信仰するところ最も厚い。その建物は滿洲寺院の典型的なものとして訪れて見るべきものがあり、門を潜つて道士に會ふのも一興である。



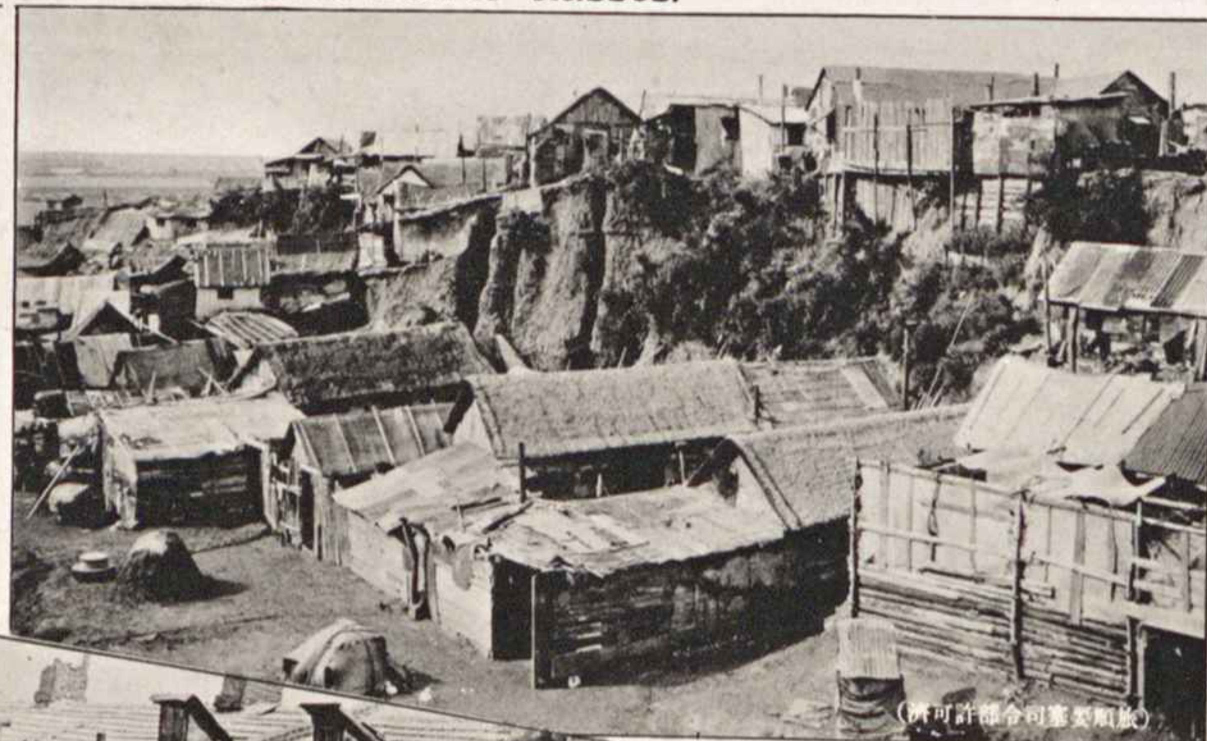
伏見台天后宮　（旅順要塞司令部許可濟）



大連寺

Barrack Quarters and Market of Lower classes.

寺兒溝部落と小盜兒市場



寺兒溝部落

(旅順要塞司令部許可濟)

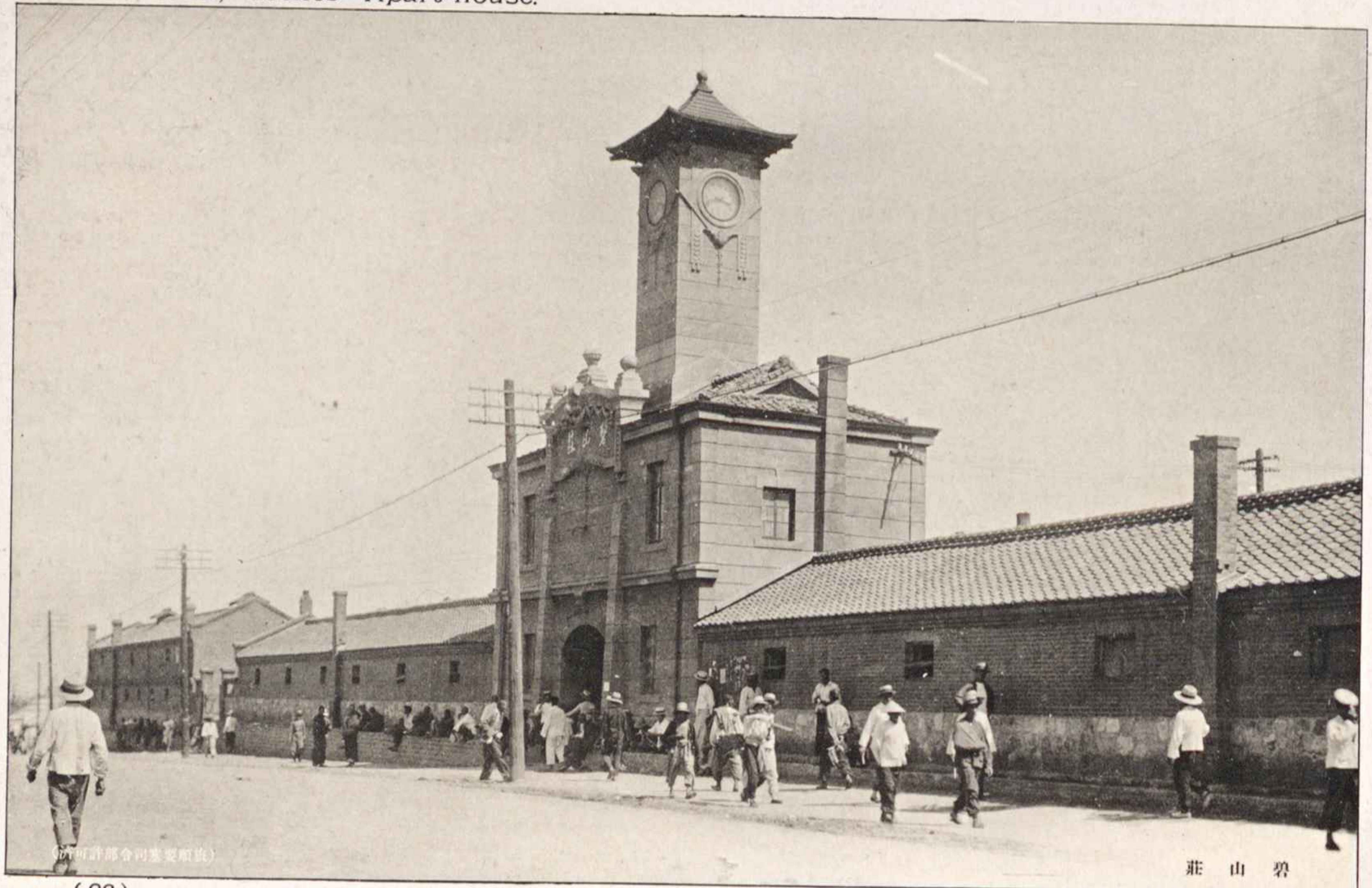


小崗子・小盜兒市場



寺兒溝のバラック部落は大滿洲帝國の玄關たる近代的大都市大連の顰める横顔とでも云ひたいやうな醜怪なる存在である。小盜兒市場は泥棒市場と云つて大連名物の一とされてゐる。其處では小泥棒の盜んで來た千差萬別のがらくた物から甚だしきは乞食が塵溜から拾ひ集めて來た目ざし鰯の頭など一山幾文で賣つてゐる。昨日盜まれたものが今朝來て見るとモウ店頭に並んでゐるといふのも面白い。

Hekizanso, Coolies' Apart-house.



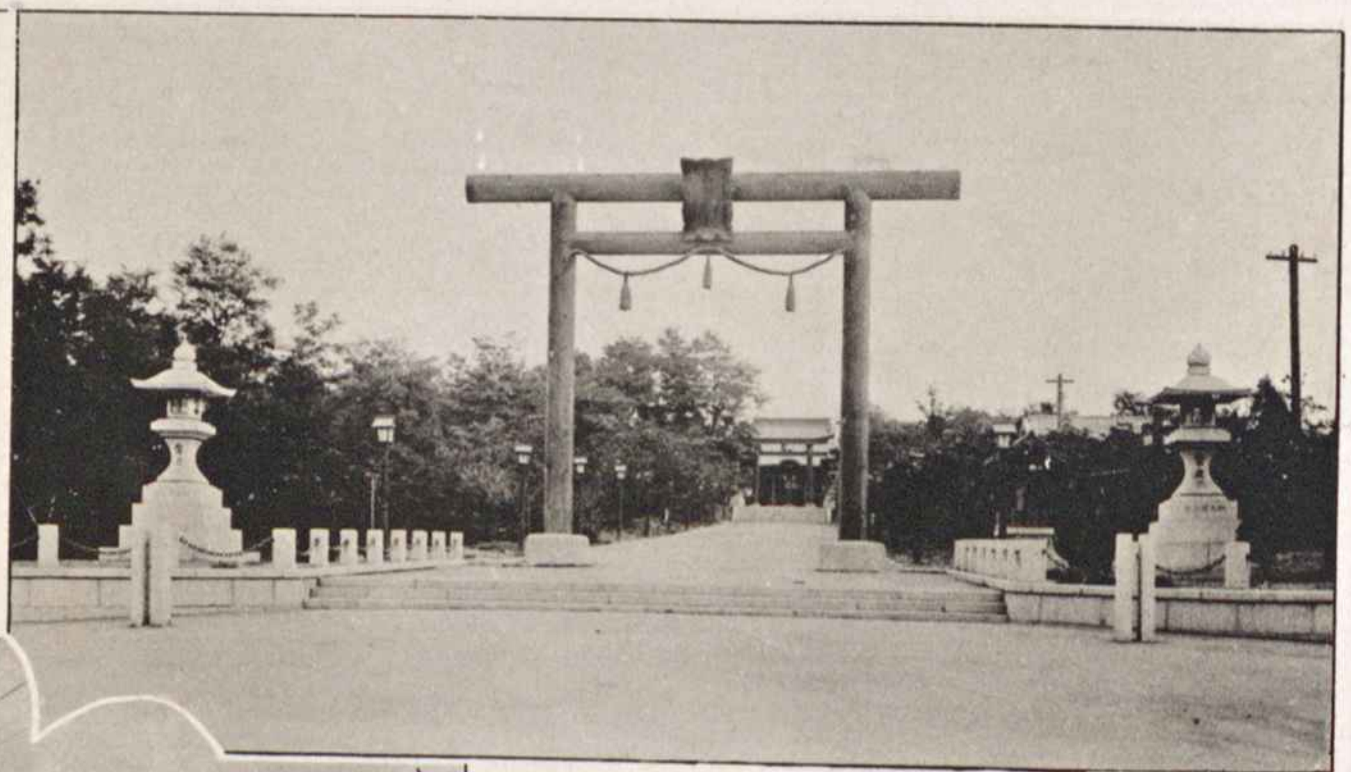
碧山荘

大連港の荷役には一日約一万四千人の下級勞働者を働かさればならない、これらの下級勞働者はすべて碧山莊に入つて共同生活をしてゐる。其處は彼等の爲めの宿舎であるばかりではなく傷病の救恤、死亡廢疾の弔慰、日用品の廉價供給、主食品燃料の補給等その厚生施設を完備し、彼等の生活の安定に盡してゐる。幾十棟と並ぶ宿舎と朝夕の彼等の群集は驚嘆すべき壯觀である。

Sha-ho-kou Station and Shakako Shrine.

沙河口停車場と沙河口神社

大連驛の次驛沙河口停車場は大連驛から二哩半、大連市の西部に當りその瀟洒なバンガロー風の建物は洵にサッパリとした好感を與へる。沙河口は工場地帶のことゝて驛の附近には汽車工場として名高い滿鐵沙河口工場がある。沙河口神社は驛の南方にあつて綠濃き淨域には神聖の氣横溢し、西部大連の鎭守神として市民の尊崇を集めてゐる。祭神は天照皇太神、大國主神。



沙河口神社

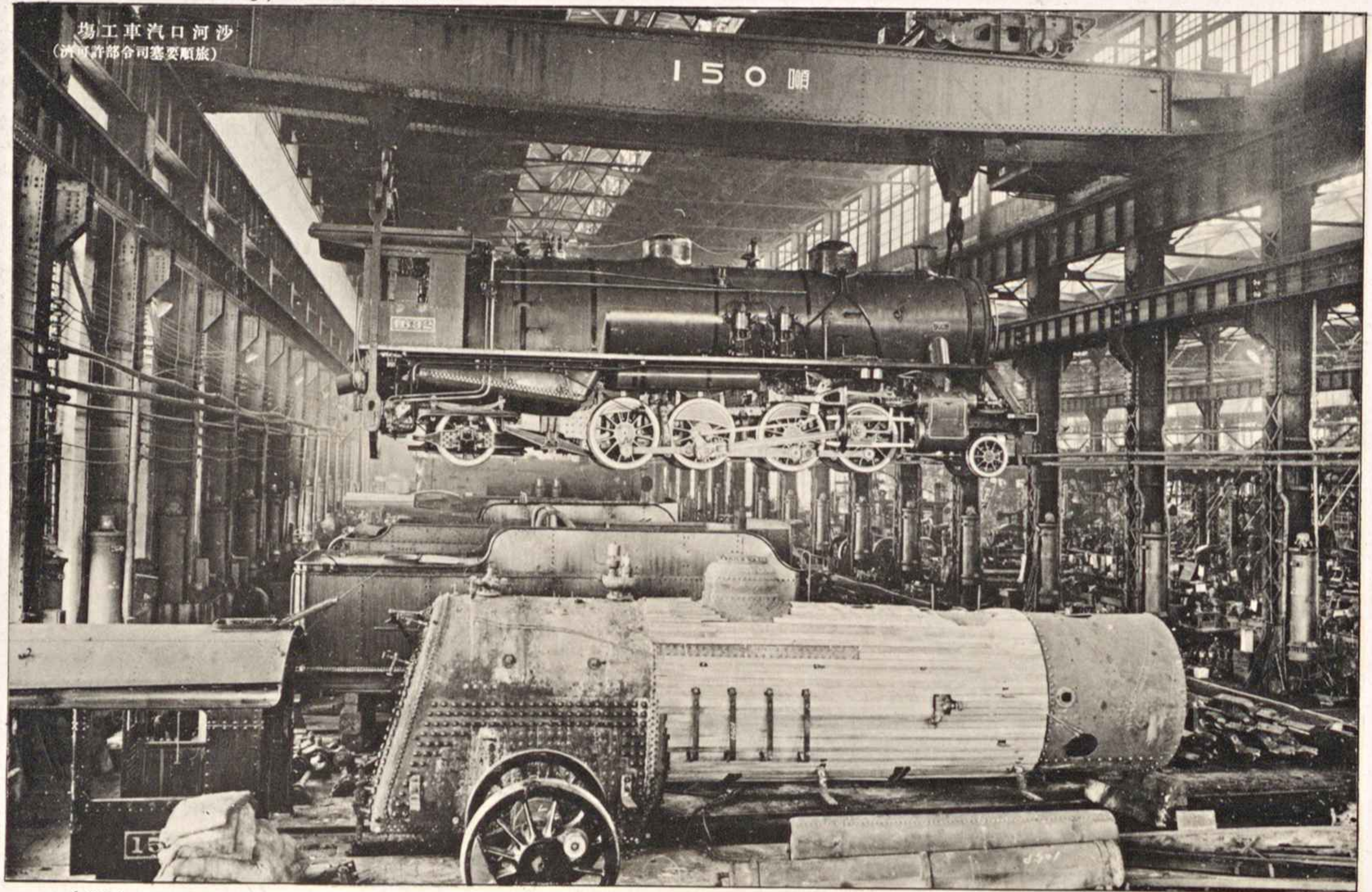
(旅順要塞司令部許可濟)



沙河口停車場

(旅順要塞司令部許可濟)

Train Factory, Sha-ho-kou.



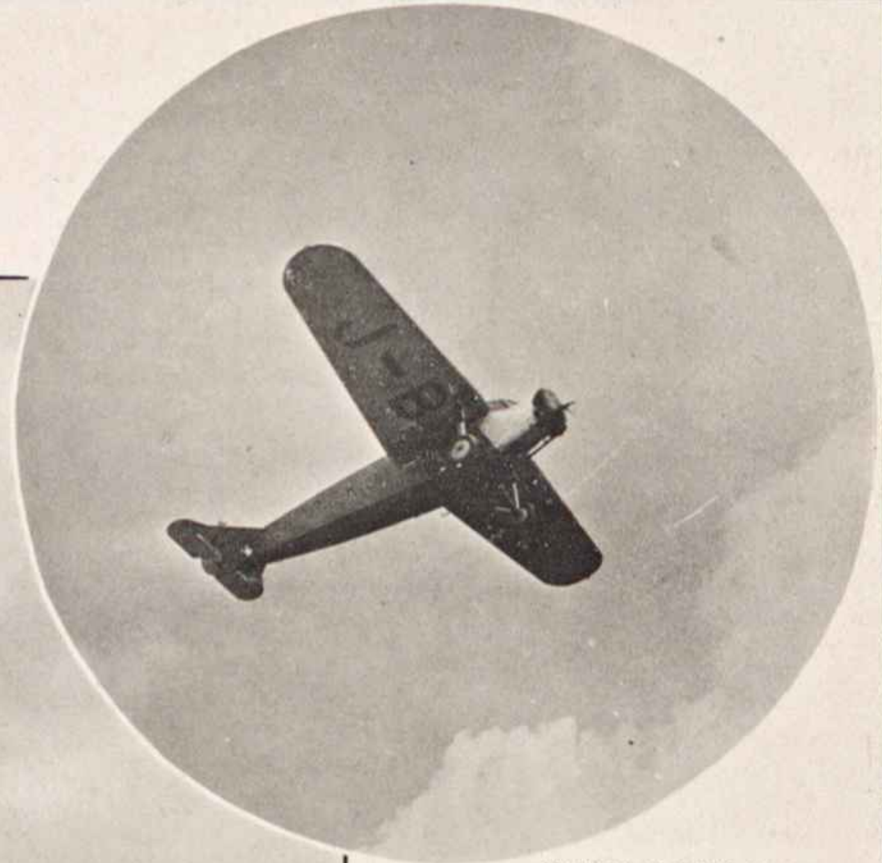
沙河口汽車工場

元大連驛構内にあつたのを移して明治四十四年八月より作業を開始した。その敷地百萬坪に近く水道、發電所など獨立の設備があり、規模の宏大なること驚くばかりで、現在一ヶ年の製作能力は機關車五十輛、客車百輛、貨車千二百輛を有し尚ほ機關車五百輛、客車七百輛、貨車七千輛を修理することが出來、これに從事する日滿人六千名を數へてゐる。

Air Station of Chou-shui-tzu.

周水子飛行場

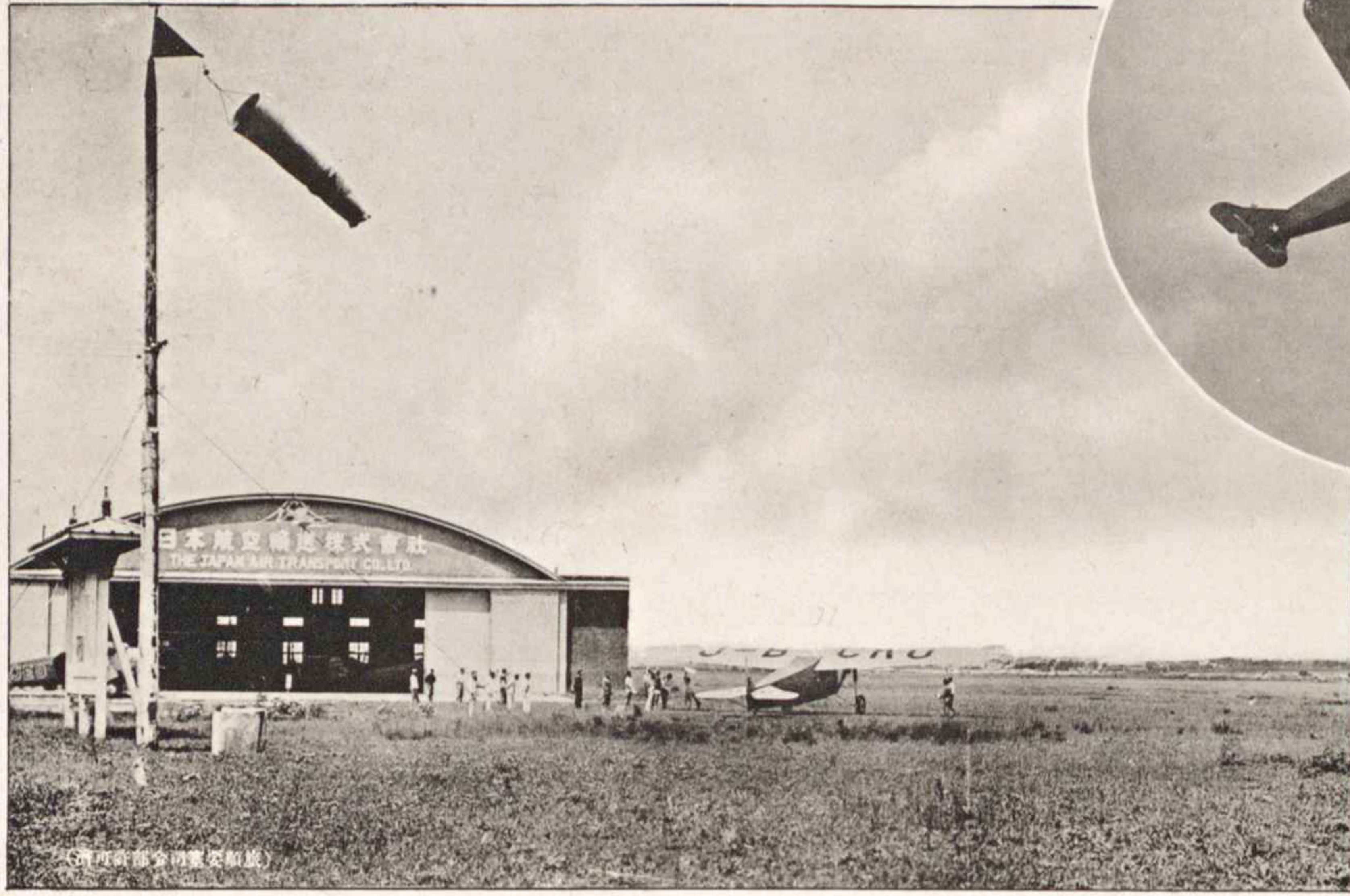
周水子は沙河口の次驛である大連から五哩半、飛行場は車窓の左に見られる。日本航空輸送會社の日滿連絡定期航空路は此處から遼東半島の東海岸を貔子窩、城子疃大孤山の上空を經て新義州に至り、新義州から平壌にそれから朝鮮と内地とを繋いでゐる。又新京奉天など滿洲各地を連絡する滿洲航空會社の航空路と此處に相會して完全なる日滿空の交通路を成してゐる。



日滿連絡航空機

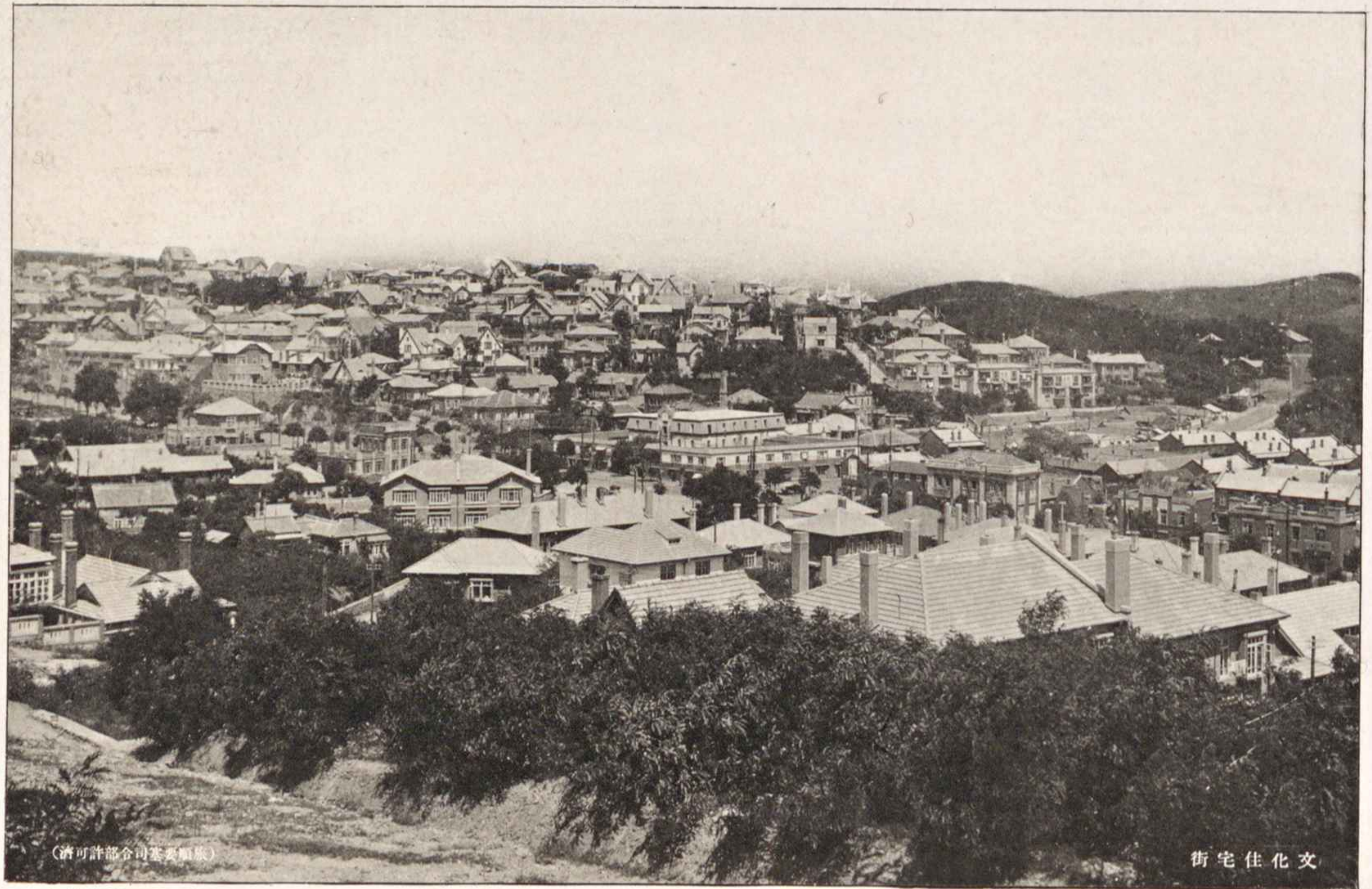
(旅順要塞司令部許可濟)

周水子飛行場



(旅順要塞司令部許可濟)

Up-to-date Residential House Quarters.



文化住宅街

文化住宅街

丁度最近流行の賣出し住宅の展覽會か、建築家の建築競技場と云つたやうな風景である。實に千種万様の住宅がどれもこれも思ひのまゝに立ち並び、赤に青に黄に白に百花の亂れ咲くやうな混然たる美觀を呈してゐる。土地は高燥で陽光燦々たる健康地、而も眺望美しく理想的な文化住宅街である。東京市復興建設顧問ビヤード博士の感嘆したのも無理はない。

發賣禁止ニテ削除

星ケ浦全景

大連市の西部、渤海に望み、遥かに支那大陸の芝罘に對して南面した星ケ浦は背後に大山と呼ぶ石山を負ひ、嚴冬の朔風を防ぎ、數里に亘る緑林白汀の美しき濱を持ち、滿洲唯一の海濱遊園地として相州の鎌倉、逗子に匹敵してゐる。星ケ浦の名はその西端に黑石礁と呼ぶ地名があり、其處の岬角の岩石が隕石であると傳へられるところから起つたものと云ふ。

Sea-bathing Place and Yamato Hotel, Hoshi-ga-Ura.



(旅順要塞司令部許可濟)

星ケ浦 ヤマトホテル



星ケ浦海水浴場

(旅順要塞司令部許可濟)

星ケ浦海水浴場と ヤマトホテル

滿洲屈指の星ケ浦海水浴場はその設備に於て滿洲一と云つてもよい。ボートハウス、ティーハウス、キャンプ、遊技器具、更衣小屋にシャワーの小屋等至れり盡せりである。滿鐵經營のヤマトホテルはそのポーチやテラスに蔦をからめて英國風の瀟洒たるところを見せ、廣い芝生の庭にはテニスコートが設けられて、尙ほ多くの貸別莊や簡易ホテルを備へてゐる。

Hoshi-ga-Ura Park and Count Goto's Statue.

星ケ浦公園と後藤伯銅像

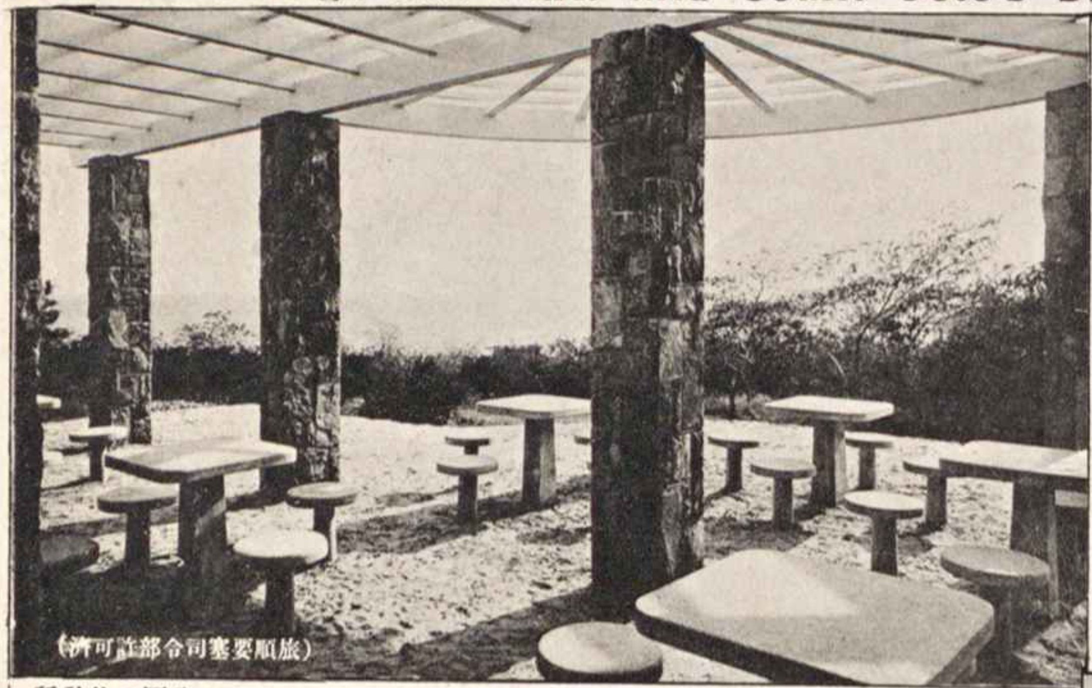
明治四十三年以来滿鐵の手に開かれた星ケ浦公園は今や三十三萬二千四百坪の廣大な地域を擁して松、楡、胡桃、ポプラ、藤、櫻など數十種の草木を植え、展望の丘、溪流の谷、白砂の濱を配し、勝景の遊園地として盡きぬ清趣を湛えてゐる。それにしても荒涼たる赤土の高粱畑からかくも清美明麗な遊園地を生んだ滿鐵の努力は偉大なものである。銅像として立つ後藤新平伯は第一次滿鐵總裁であつた。

星ケ浦公園



後藤伯銅像



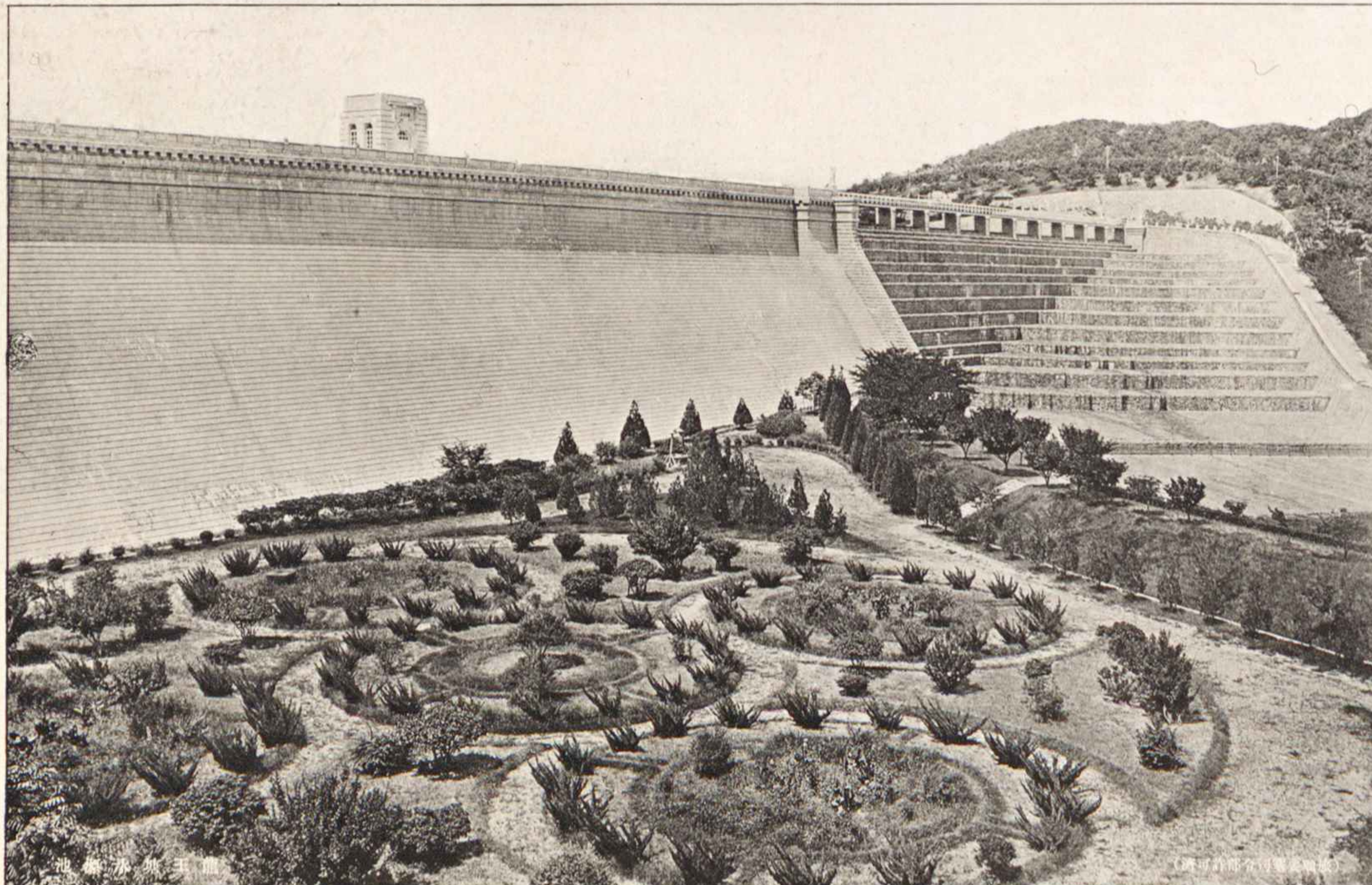


公園の休憩所



星ケ浦公園の入口

Reservior of Water Supply.



龍王塘水源池

大連市民の飲用水たる上水道は王家屯と龍王塘の兩所に大規模な貯水池を設けて給水しつゝある。龍王塘は旅順に近くその山間に高さ二十余米、奥行三、四キロの大貯水池を設けてゐる。これを三十余キロの大鐵管を通じて市の背面の山頂にある給水池に通じ、こゝから市民に配水してゐるが、一日の給水能力二萬立方メートル、優に百五十萬人を養ふに足る設備である。

老虎灘

星ヶ浦の海濱沿ひに東すれば老虎灘がある。大連から、電車なされば常盤橋で、星ヶ浦方面と老虎灘方面と二方面に分れて走つてゐる。星ヶ浦と共に海岸美をもつて知らてゐるが、星ヶ浦の女性的なのに比し老虎灘は男性的である。万里寄せ來る黃海の波濤が岩礁布置する海岸に物凄い水煙を上げて押寄せる。その豪快なる景觀は逞ましい男の壯々たる意氣を想はせる。

發賣禁止ヲ削除

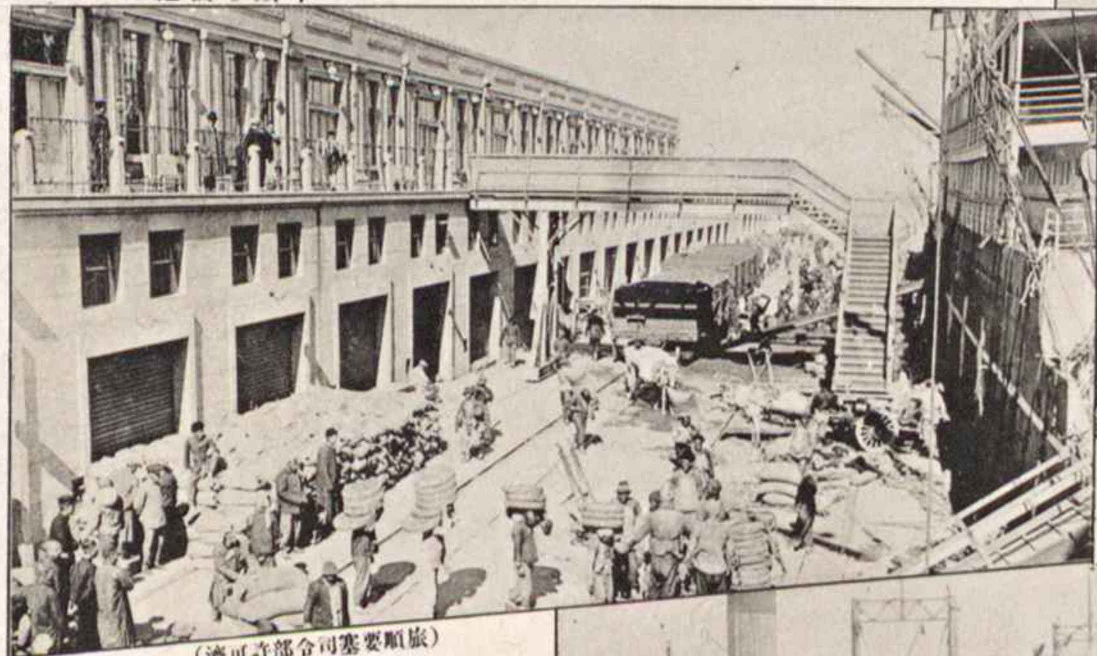
老虎灘海岸

老虎灘の名はその西方海中に突出してゐる一大岬角が恰も老虎の空に嘯くに似てゐるところから來てゐる。其處は奇岩怪礁の多い海岸とて釣魚を樂しみ、魚貝を漁るのに適してゐる。又旗亭茶寮に涼を入れ煙波浩蕩として遠く白帆の去來するのを眺め、夏日の猛暑を忘れるによい。尚ほこゝの盤狀硅岩に見られる『リップルマーク』は學術上著名である。

埠頭の景觀

昭和七年度に於ける大連港出入船舶は日滿外國を混えて四千五百余雙、千二百四十九万五千余噸で、その輸出入貨物は輸出六百二十万六千余瓲、輸入百二十六万八千余瓲である。又その上陸旅客は三十二万八千余名、乗船旅客は三十万余名である。昭和七年と云へば未だ滿洲事變の最中、而も尚ほこの尨大なる數を示してゐることは如何に大連港が活躍してゐるかを語るものである。

埠頭の積込み



（旅順要塞司令部許可濟）



（旅順要塞司令部許可濟）

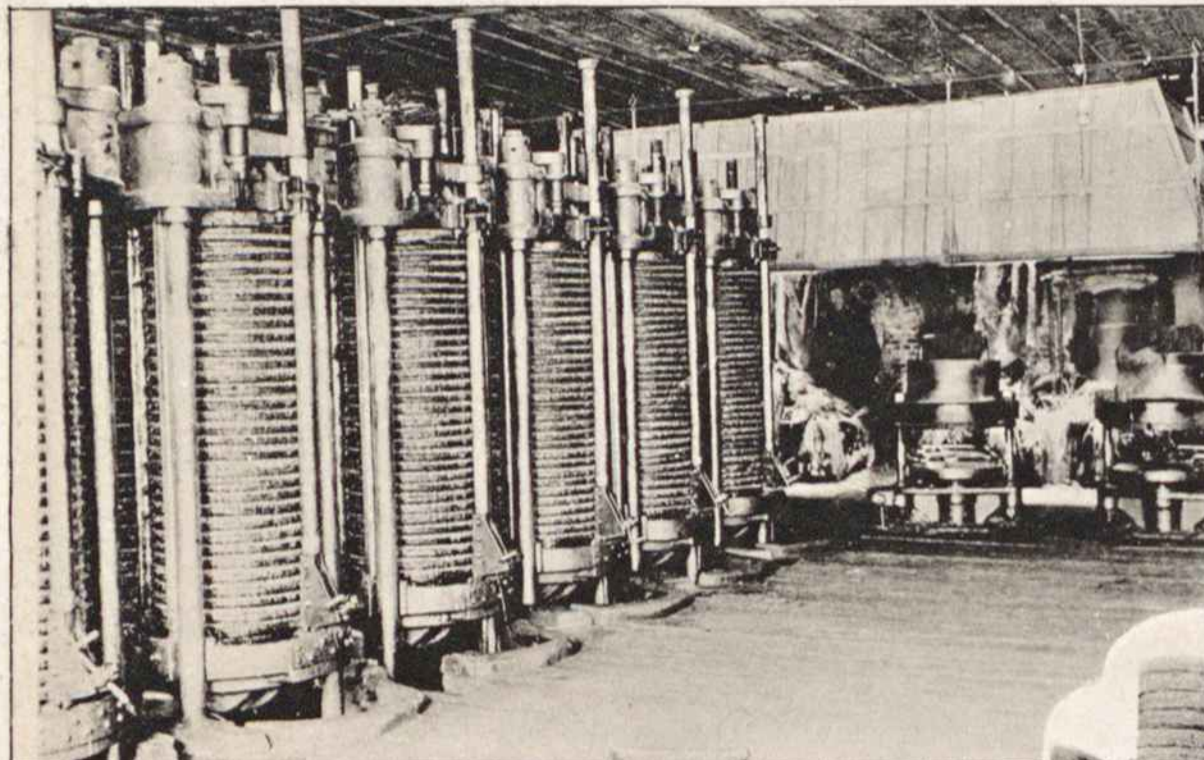
埠頭の景觀



（旅順要塞司令部許可濟）

埠頭情景

Oil Mill and Stock of Bean-cakes.

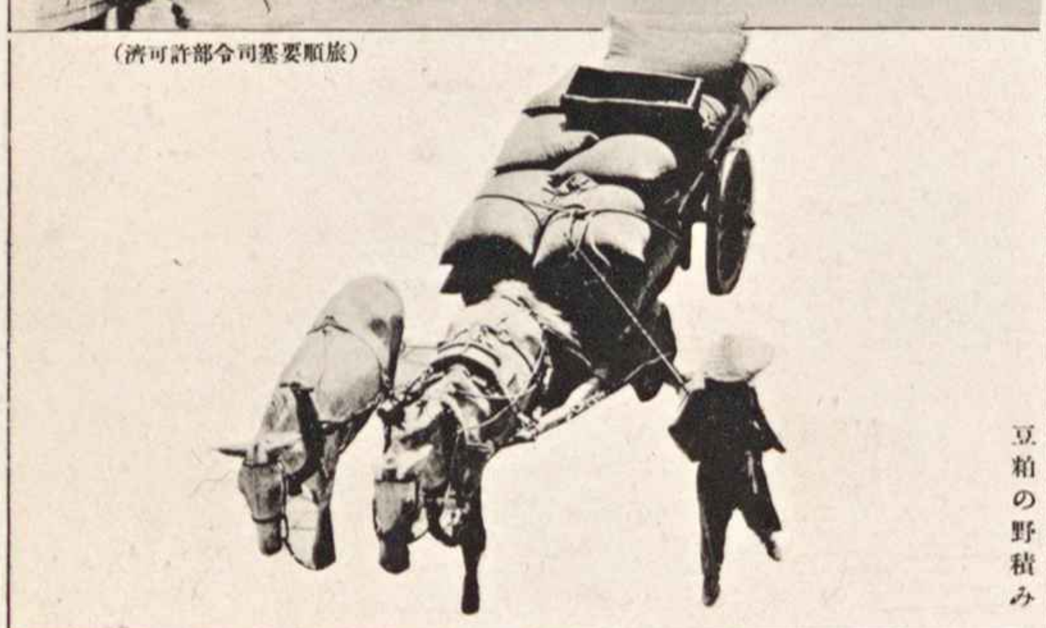


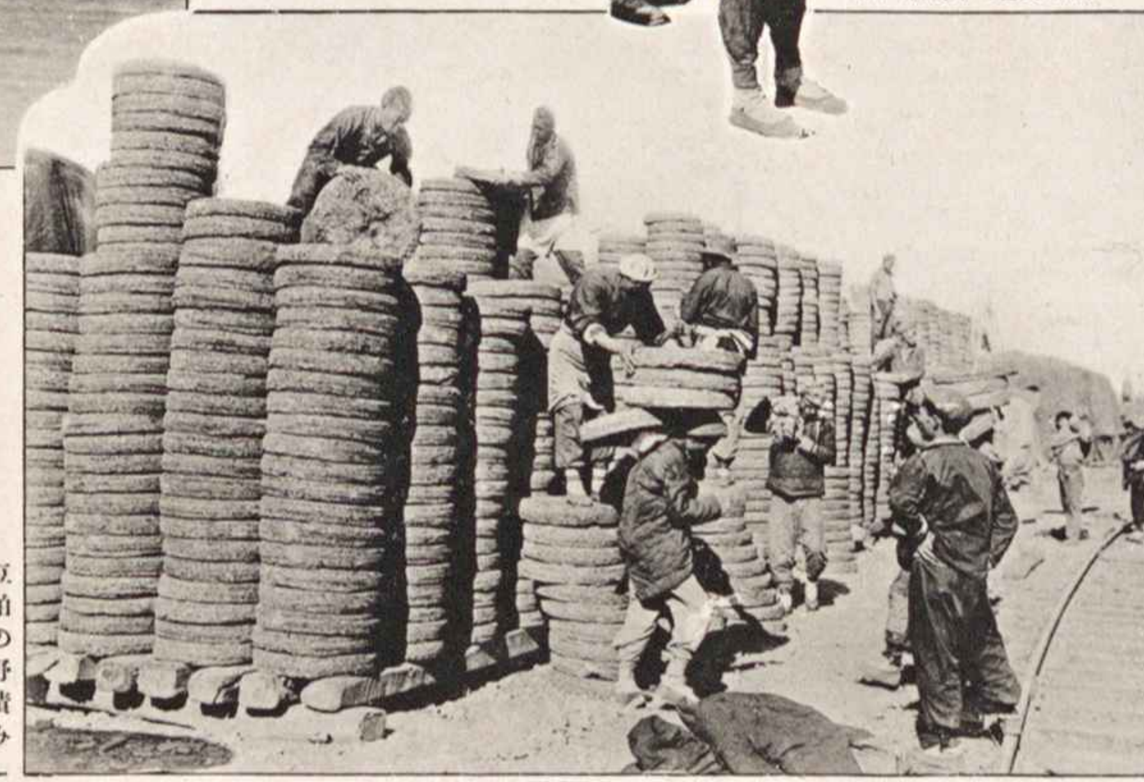
油房の内部

(旅順要塞司令部許可済)



(旅順要塞司令部許可済)





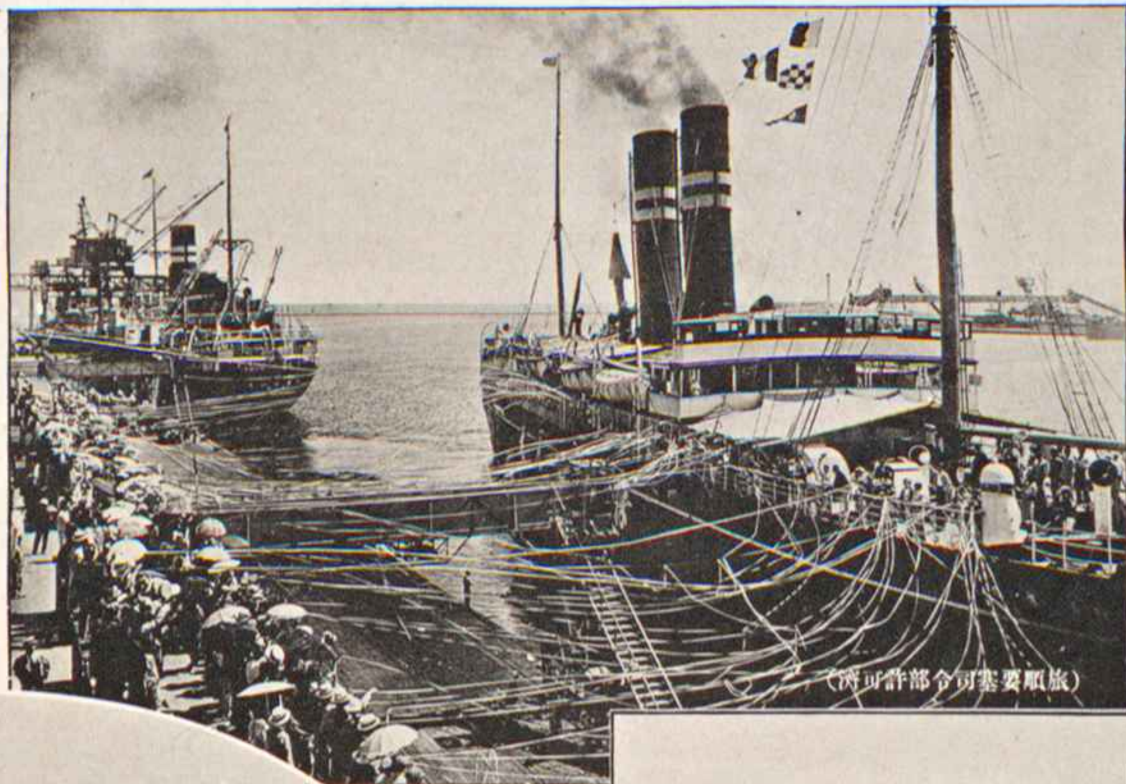
豆粕の野積み

油房と豆粕の野積み

滿洲は大豆の國である、世界の大豆の殆んどが滿洲で産出してゐる。だから大豆を利用する工業は隨分盛である。油房は大豆から油を搾る工場でその搾つた粕から肥料の豆粕が製造される。大連港には滿洲各地の油房から豆油、豆粕が盛に集り、豆粕は主に日本へ、豆油は各國へ輸出される昭和七年度の輸出額を見れば豆油十万二千余瓩、豆粕八十九万二千余瓩となつてゐる。

連絡船の出港

六千三百余噸のうらる丸を首めとして五、六千噸級の日満連絡船四隻が殆んど隔日に大連港を出港してゐる。出港の日には見送人が雲集してさしもの埠頭を文字通り立錐の余地なく埋め盡して、船からは盛んにサーペントを投げかけ、五色のテープが蠶の糸のやうに張られる。そして出港を告げる銅鑼の音と共に萬歳の聲が擧がる。その盛んな光景は流石が大陸の埠頭であると思はせる。



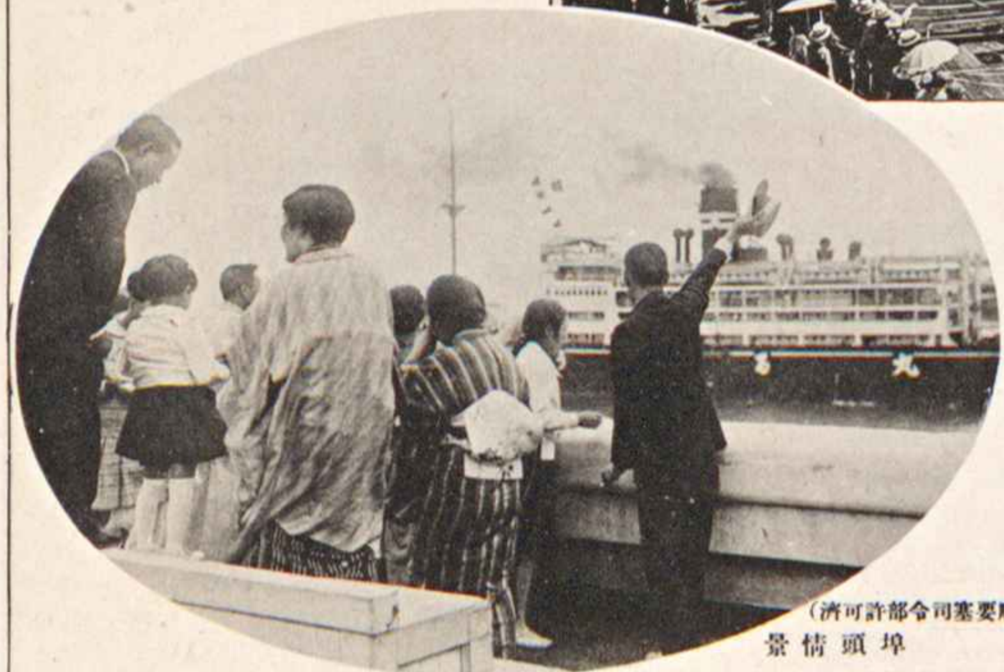
連絡船解纜の刹那

(旅順要塞司令部許可濟)



出港のばいかる丸

(旅順要塞司令部許可濟)



(旅順要塞司令部許可濟)

埠頭情景

Evening view of Port.


港内の夕映え
(旅順要塞司令部許可済)

大連港の夕景

東洋一の大港灣として又滿洲帝國の海の玄關として大連港の一日の營みは實に素晴らしいものである。その一日も正に暮れんとして夕陽は港内を赤く染め、夕闇は波止場の蔭、船の蔭に潜み、風は落ちて夕凪の靜けさが滿々たる海面に油を流したやうに擴つて行く、その押默つたやうな夕暮の港は何故かセンチな物寂しい感じを與へる。

昭和八年十月十日印刷
昭和八年十二月一日發行
『大連の景觀』奥付

著作者兼發行者　和歌山市小松原通一丁目五番地　山崎鋆一郎
印刷所　和歌山市小松原通一丁目五番地　大正寫眞工藝所
發行所　大連市浪速町　大阪屋號書店